

2024年の 米日ハイテクグロース株投資 ー生成AIの大ブームと半導体のこれからー

2024年4月20日

楽天証券経済研究所

チーフアナリスト 今中 能夫

ご注意事項

本資料は、勉強会の為に作成されたものであり、有価証券の取引、その他の取引の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。本資料及び資料にある情報をいかなる目的で使用される場合におきましても、お客様の判断と責任において使用されるものであり、本資料及び資料にある情報の使用による結果について、当社は何らの責任を負うものではありません。

本資料で記載しております価格、数値、金利等は概算値または予測値であり、諸情勢により変化し、実際とは異なる場合がございます。また、本資料は将来の結果をお約束するものではなく、お取引をなさる際に実際に用いられる価格または数値を表すものでもございませんので、予めご了承くださいませようお願いいたします。

加入協会

日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、日本商品先物取引協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

商号等

楽天証券株式会社／金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第195号、商品先物取引業者

国内株式のリスクと費用について

■国内株式 国内ETF／ETN 上場新株予約権証券（ライツ）

【株式等のお取引にかかるリスク】

株式等は株価（価格）の変動等により損失が生じるおそれがあります。上場投資信託（ETF）は連動対象となっている指数や指標等の変動等、上場投資証券（ETN）は連動対象となっている指数や指標等の変動等や発行体となる金融機関の信用力悪化等、上場不動産投資信託証券（REIT）は運用不動産の価格や収益力の変動等、ライツは転換後の価格や評価額の変動等により、損失が生じるおそれがあります。※ライツは上場および行使期間に定めがあり、当該期間内に行使しない場合には、投資金額を全額失うことがあります。

●レバレッジ型、インバース型ETF及びETNのお取引にあたっての留意点

上場有価証券等のうち、レバレッジ型、インバース型のETF及びETN（※）のお取引にあたっては、以下の点にご留意ください。

- ・レバレッジ型、インバース型のETF及びETNの価額の上昇率・下落率は、2営業日以上の場合、同期間の原指数の上昇率・下落率に一定の倍率を乗じたものとは通常一致せず、それが長期にわたり継続することにより、期待した投資成果が得られないおそれがあります。
- ・上記の理由から、レバレッジ型、インバース型のETF及びETNは、中長期間的な投資の目的に適合しない場合があります。
- ・レバレッジ型、インバース型のETF及びETNは、投資対象物や投資手法により銘柄固有のリスクが存在する場合があります。詳しくは別途銘柄ごとに作成された資料等でご確認いただく、またはコールセンターにてお尋ねください。

※「上場有価証券等」には、特定の指標（以下、「原指数」といいます。）の日々の上昇率・下落率に連動し1日に一度価額が算出される上場投資信託（以下「ETF」といいます。）及び指数連動証券（以下、「ETN」といいます。）が含まれ、ETF及びETNの中には、原指数の日々の上昇率・下落率に一定の倍率を乗じて算出された数値を対象指数とするものがあります。このうち、倍率が+（プラス）1を超えるものを「レバレッジ型」といい、-（マイナス）のもの（マイナス1倍以内のものを含みます）を「インバース型」といいます。

【信用取引にかかるリスク】

信用取引は取引の対象となっている株式等の株価（価格）の変動等により損失が生じるおそれがあります。信用取引は差し入れた委託保証金を上回る金額の取引をおこなうことができるため、大きな損失が発生する可能性があります。その損失額は差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。

【株式等のお取引にかかる費用】

国内株式の委託手数料は「ゼロコース」「超割コース」「いちにち定額コース」の3コースから選択することができます。

国内株式のリスクと費用について

〔ゼロコース（現物取引）〕

約定金額にかかわらず取引手数料は0円です。

但し、原則として当社が指定するSOR（スマート・オーダー・ルーティング（※1））注文のご利用が必須となります。

（当社が指定する取引ツールや注文形態で発注する場合を除きます。）

ゼロコースをご利用される場合には、当社のSORやRクロス（※2）の内容を十分ご理解のうえでその利用に同意いただく必要があります。

※1 SORとは、複数市場から指定条件に従って最良の市場を選択し、注文を執行する形態の注文です。

※2 「Rクロス」は、楽天証券が提供する社内取引システム（ダークプール（※3））です。

※3 ダークプールとは、証券会社が投資家同士の売買注文を付け合わせ、対当する注文があれば金融商品取引所の立会外市場(ToSTNeT)に発注を行い約定させるシステムをいいます。

〔ゼロコース（信用取引）〕

約定金額にかかわらず取引手数料は0円です。

但し、原則として当社が指定するSORのご利用が必須となります。（当社が指定する取引ツールや注文形態で発注する場合を除きます。）

国内株式のリスクと費用について

〔超割コース（現物取引）〕

1回のお取引金額で手数料が決まります。

取引金額	取引手数料
5万円まで	50円（55円）
10万円まで	90円（99円）
20万円まで	105円（115円）
50万円まで	250円（275円）
100万円まで	487円（535円）
150万円まで	582円（640円）
3,000万円まで	921円（1,013円）
3,000万円超	973円（1,070円）

※（）内は税込金額

超割コース大口優遇の判定条件を達成すると、以下の優遇手数料が適用されます。大口優遇は一度条件を達成すると、3ヶ月間適用になります。詳しくは当社ウェブページをご参照ください。

〔超割コース 大口優遇（現物取引）〕

約定金額にかかわらず取引手数料は0円です。

〔超割コース（信用取引）〕

1回のお取引金額で手数料が決まります。

取引金額	取引手数料
10万円まで	90円（99円）
20万円まで	135円（148円）
50万円まで	180円（198円）
50万円超	350円（385円）

※（）内は税込金額

〔超割コース 大口優遇（信用取引）〕

約定金額にかかわらず取引手数料は0円です。

国内株式のリスクと費用について

【いちにち定額コース】

1日の取引金額合計（現物取引と信用取引合計）で手数料が決まります。

1日の取引金額合計	取引手数料
100万円まで	0円
200万円まで	2,000円（2,200円）
300万円まで 以降、100万円増えるごとに1,100円追加。	3,000円（3,300円）

※（）内は税込金額

※1日の取引金額合計は、前営業日の夜間取引と当日の日中取引を合算して計算いたします。

※一般信用取引における返済期日が当日の「いちにち信用取引」、および当社が別途指定する銘柄の手数料は0円です。これらのお取引は、いちにち定額コースの取引金額合計に含まれません。

【かぶミニ®（単元未満株の店頭取引）にかかるリスクおよび費用】

リスクについて

かぶミニ®の取扱い銘柄については市場環境等により、取扱いを停止する場合があります。

費用について

売買手数料は無料です。

かぶミニ®（単元未満株の店頭取引）は、当社が自己で直接の相手方となり市場外で売買を成立させます。そのため、取引価格は買付時には基準価格に一定のスプレッド（差額）を上乗せした価格、売却時には基準価格に一定のスプレッド（差額）を差し引いた価格となります（1円未満の端数がある場合、買付時は整数値に切り上げ、売却時は切り捨て）。なお、適用されるスプレッドは当社ウェブサイトにて開示していますが、相場環境の急変等により変動する場合があります。

- カスタマーサービスセンターのオペレーターの取次ぎによる電話注文は、上記いずれのコースかに関わらず、1回のお取引ごとにオペレーター取次ぎによる手数料（最大で4,950円（税込））を頂戴いたします。詳しくは取引説明書等をご確認ください。
 - 信用取引には、上記の売買手数料の他にも各種費用がかかります。詳しくは取引説明書等をご確認ください。
 - 信用取引をおこなうには、委託保証金の差し入れが必要です。最低委託保証金は30万円、委託保証金率は30%、委託保証金最低維持率（追証ライン）が20%です。委託保証金の保証金率が20%未満となった場合、不足額を所定の時限までに当社に差し入れていただき、委託保証金へ振替えていただくか、建玉を決済していただく必要があります。
- レバレッジ型 E T F 等の一部の銘柄の場合や市場区分、市場の状況等により、30%を上回る委託保証金が必要な場合がありますので、ご注意ください。

国内株式のリスクと費用について

【貸株サービス・信用貸株にかかるリスクおよび費用】

（貸株サービスのみ）

●リスクについて

貸株サービスの利用に当社とお客様が締結する契約は「消費貸借契約」となります。株券等を貸付いただくにあたり、楽天証券よりお客様へ担保の提供はなされません（無担保取引）。（信用貸株のみ）

●株券等の貸出設定について

信用貸株において、お客様が代用有価証券として当社に差入れている株券等（但し、当社が信用貸株の対象としていない銘柄は除く）のうち、一部の銘柄に限定して貸出すことができますが、各銘柄につき一部の数量のみに限定することはできませんので、ご注意ください。

（貸株サービス・信用貸株共通）

●当社の信用リスク

当社がお客様に引渡すべき株券等の引渡し、履行期日又は両者が合意した日に行われず場合があります。この場合、「株券等貸借取引に関する基本契約書」・「信用取引規定兼株券貸借取引取扱規定第2章」に基づき遅延損害金をお客様にお支払いいたしますが、履行期日又は両者が合意した日に返還を受けていた場合に株主として得られる権利（株主優待、議決権等）は、お客様は取得できません。

●投資者保護基金の対象とはなりません

貸付いただいた株券等は、証券会社が自社の資産とお客様の資産を区別して管理する分別保管および投資者保護基金による保護の対象とはなりません。

●手数料等諸費用について

お客様は、株券等を貸付いただくにあたり、取引手数料等の費用をお支払いいただく必要はありません。

●配当金等、株主の権利・義務について（貸借期間中、株券等は楽天証券名義又は第三者名義等になっており、この期間中において、お客様は株主としての権利義務をすべて喪失します。そのため一定期間株式を所有することで得られる株主提案権等について、貸借期間中はその株式を所有していないこととなりますので、ご注意ください。（但し、信用貸株では貸借期間中の全部又は一部においてお客様名義のままの場合もあり、この場合、お客様は株主としての権利義務の一部又は全部が保持されます。）株式分割等コーポレートアクションが発生した場合、自動的にお客様の口座に対象銘柄を返却することで、株主の権利を獲得します。権利獲得後の貸出設定は、お客様のお取引状況によってお手続きが異なりますのでご注意ください。

貸借期間中に権利確定日が到来した場合の配当金については、発行会社より配当の支払いがあった後所定の期日に、所得税相当額を差し引いた配当金相当額が楽天証券からお客様へ支払われます。

国内株式のリスクと費用について

● 株主優待、配当金の情報について

株主優待の情報は、東洋経済新報社から提供されるデータを基にしており、原則として毎月1回の更新となります。更新日から次回更新日までの内容変更、売買単位の変更、分割による株数の変動には対応しておりません。また、貸株サービス・信用貸株内における配当金の情報は、TMI（Tokyo Market Information；東京証券取引所）より提供されるデータを基にしており、原則として毎営業日の更新となります。株主優待・配当金は各企業の判断で廃止・変更になる場合がありますので、必ず当該企業のホームページ等で内容をご確認ください。

● 大量保有報告（短期大量譲渡に伴う変更報告書）の提出について

楽天証券、または楽天証券と共同保有者（金融商品取引法第27条の23第5項）の関係にある楽天証券グループ会社等が、貸株対象銘柄について変更報告書（同法第27条の25第2項）を提出する場合において、当社がお客様からお借りした同銘柄の株券等を同変更報告書提出義務発生日の直近60日間に、お客様に返還させていただいているときは、お客様の氏名、取引株数、契約の種類（株券消費貸借契約である旨）等、同銘柄についての楽天証券の譲渡の相手方、および対価に関する事項を同変更報告書に記載させていただく場合がございますので、予めご了承ください。

● 税制について

株券貸借取引で支払われる貸借料及び貸借期間中に権利確定日が到来した場合の配当金相当額は、お客様が個人の場合、一般に雑所得又は事業所得として、総合課税の対象となります。なお、配当金相当額は、配当所得そのものではないため、配当控除は受けられません。また、お客様が法人の場合、一般に法人税に係る所得の計算上、益金の額に算入されます。税制は、お客様によりお取り扱いが異なる場合がありますので、詳しくは、税務署又は税理士等の専門家にご確認ください。

外国株式のリスクと費用について

■外国株式 海外ETF／ETN／REIT

【外国株式等の取引にかかるリスク】

外国株式等は、株価（価格）の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、為替相場の変動等により損失（為替差損）が生じるおそれがあります。上場投資信託（ETF）は連動対象となっている指数や指標等の変動等、上場投資証券（ETN）は連動対象となっている指数や指標等の変動等や発行体となる金融機関の信用力悪化等、上場不動産投資信託証券（REIT）は運用不動産の価格や収益力の変動等により、損失が生じるおそれがあります。

●レバレッジ型、インバース型ETF及びETNのお取引にあたっての留意点

上場有価証券等のうち、レバレッジ型、インバース型のETF及びETN（※）のお取引にあたっては、以下の点にご留意ください。

- ・ レバレッジ型、インバース型のETF及びETNの価額の上昇率・下落率は、2営業日以上の場合、同期間の原指数の上昇率・下落率に一定の倍率を乗じたものとは通常一致せず、それが長期にわたり継続することにより、期待した投資成果が得られないおそれがあります。
- ・ 上記の理由から、レバレッジ型、インバース型のETF及びETNは、中長期間的な投資の目的に適合しない場合があります。
- ・ レバレッジ型、インバース型のETF及びETNは、投資対象物や投資手法により銘柄固有のリスクが存在する場合があります。詳しくは別途銘柄ごとに作成された資料等でご確認いただく、またはコールセンターにてお尋ねください。

※「上場有価証券等」には、特定の指標（以下、「原指数」といいます。）の日々の上昇率・下落率に連動し1日に一度価額が算出される上場投資信託（以下「ETF」といいます。）及び指数連動証券（以下、「ETN」といいます。）が含まれ、ETF及びETNの中には、原指数の日々の上昇率・下落率に一定の倍率を乗じて算出された数値を対象指数とするものがあります。このうち、倍率が+（プラス）1を超えるものを「レバレッジ型」といい、-（マイナス）のもの（マイナス1倍以内のものを含みます）を「インバース型」といいます。

外国株式のリスクと費用について

【米国株式の信用取引にかかるリスク】

米国株式信用取引の対象となっている株式等の株価（価格）の変動等により損失が生じるおそれがあります。米国株式信用取引は差し入れた委託保証金を上回る金額の取引をおこなうことができるため、大きな損失が発生する可能性があります。その損失額は差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。また、米国株式信用取引は外貨建てで行う取引であることから、米国株式信用取引による損益は外貨で発生します。そのため、お客様の指示により外貨を円貨に交換する際の為替相場の状況によって為替差損が生じるおそれがあります。

【外国株式等の取引にかかる費用】

〔現物取引〕

分類	取引手数料
米国株式	約定代金の0.495%（税込） ・最低手数料：0米ドル ・上限手数料：22米ドル（税込）
中国株式	約定代金の0.55%（税込） ・最低手数料：550円（税込） ・上限手数料：5,500円（税込）
アセアン株式	約定代金の1.10%（税込） ・最低手数料：550円（税込） ・手数料上限なし

※当社が別途指定する銘柄の買付手数料は無料です。

※米国株式の売却時は上記の手数料に加え、別途SEC Fee（米国現地取引所手数料）がかかります。詳しくは当社ウェブページ上でご確認ください。

※中国株式・アセアン株式につきましては、カスタマーサービスセンターのオペレーター取次ぎの場合、通常の手数料に2,200円（税込）が追加されます。

外国株式のリスクと費用について

〔米国株式信用取引〕

1回のお取引金額で手数料が決まります。

取引手数料

約定代金の0.33%（税込）
・最低手数料：0米ドル
・上限手数料：16.5米ドル（税込）

※当社が別途指定する銘柄の新規買建または買返済時の取引手数料は無料です。

※売却時（信用取引の場合、新規売建/売返済時）は上記の手数料に加え、別途SEC Fee（米国現地取引所手数料）がかかります。詳しくは当社ウェブページ上でご確認ください。

●米国株式信用取引には、上記の売買手数料の他にも各種費用がかかります。詳しくは取引説明書等をご確認ください。

●米国株式信用取引をおこなうには、委託保証金の差し入れが必要です。最低委託保証金は当社が指定する30万円相当額、新規建て時に最低必要な委託保証金率は50%、委託保証金最低維持率（追証ライン）が30%です。委託保証金の保証金率が30%未満となった場合、不足額を所定の時限までに当社に差し入れていただき、委託保証金へ振替えていただくか、建玉を決済していただく必要があります。

【米国株式の信用取引にかかるリスク】

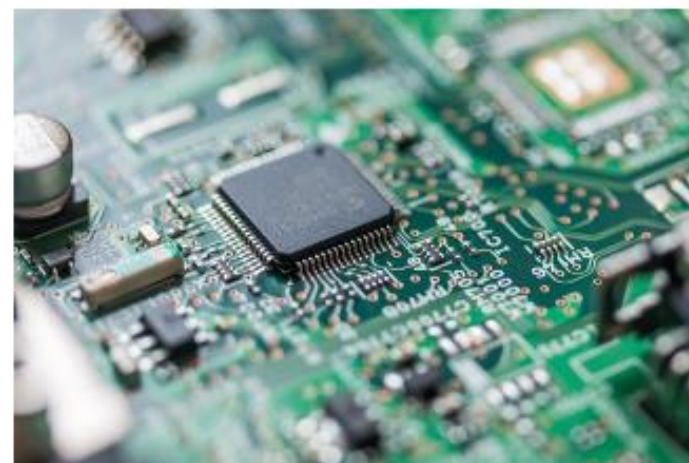
米国株式信用取引の対象となっている株式等の株価（価格）の変動等により損失が生じるおそれがあります。米国株式信用取引は差し入れた委託保証金を上回る金額の取引をおこなうことができるため、大きな損失が発生する可能性があります。その損失額は差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。また、米国株式信用取引は外貨建てで行う取引であることから、米国株式信用取引による損益は外貨で発生します。そのため、お客様の指示により外貨を円貨に交換する際の為替相場の状況によって為替差損が生じるおそれがあります。

レポート週1本、動画週1本を配信中



〔動画で解説〕特集：半導体メモリ（HBMがAI半導体の性能向上と増産のカギとなる）、銘柄レポート：ディスコ（2024年3月期4Qの個別売上高、個別出荷額は好調だった）

特集記事
2024/4/5



特集：半導体メモリ（HBMがAI半導体の性能向上と増産のカギとなる）、銘柄レポート：ディスコ（2024年3月期4Qの個別売上高、個別出荷額は好調だった）

楽天証券投資weekly セクター・投資テーマ編
2024/4/5

本日のメニュー

1. GAFAMの生成AI戦略
2. AI半導体－エヌビディアは何をしようとしているのかー
3. AI半導体と半導体製造装置
4. AIサーバー
5. 2024年ハイテクグローバル株の投資リスク
6. まとめと注目銘柄

(注：本稿に掲載している楽天証券業績予想は、2024年4月8日9時（日本時間）時点のものです。)

1. GAFAMの生成AI戦略

● 2024年のハイテク3大テーマ

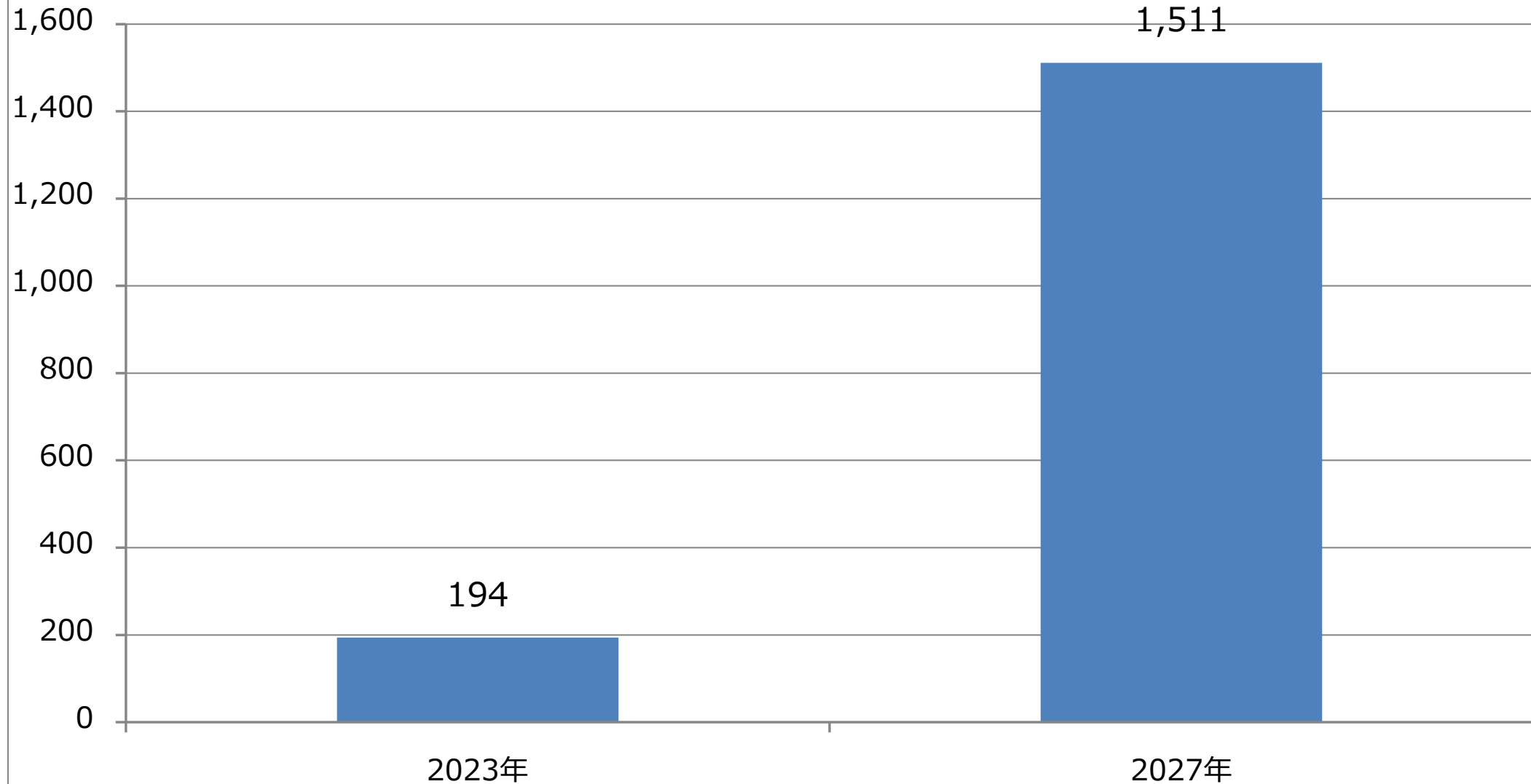
1. 生成AI

2. AI半導体

3. 生成AIあるいはAI全般で変化するセクターはどこか（IT、医療、軍事、自動車、その他）

生成AI関連ソリューションに対する世界の企業支出

(単位：億ドル、出所：IDC2023年12月21日プレスリリースより楽天証券作成、生成AIソフトウェアと関連のインフラハードウェア、IT/ビジネスサービスの合計)



● なぜ、「生成AI」なのか。

- ✓ 企業が作成しなければならない文書、グラフ、画像がこの5～10年で急増。プログラミング需要も大きくなっている。
- ✓ **文書、グラフ、画像、プログラミングをAIで生成できないか。**
- ✓ 生成AIを高度化すれば対話型の「**AIアシスタント**」として使える。金がかかるが、オープンAI×マイクロソフトがこれをやってのけた。
- ✓ アメリカのAI研究機関「オープンAI」（2015年12月設立）が2022年11月に公開した生成AI「ChatGPT」が大ブームとなった。マイクロソフトは、2019年からオープンAIに対して資金提供しており、オープンAIとは強力な提携関係にある。
- ✓ ChatGPTの中身が進歩。GPT3.5（無料版）から現在はGPT3.5Turboになった。有料版はGPT4.0Turbo。

- **マイクロソフトは、GPT-4の機能を加えた業務支援ソフト「Microsoft365 Copilot」を2023年11月1日に発売（法人向け「Microsoft365 Copilot」は1人当たり月額30ドル、個人でも使える「Copilot Pro」は同月額20ドル）。**
- **アルファベット、メタ・プラットフォームズ、アマゾン・ドット・コムも独自の生成AIを開発、ユーザーに提供している。**
- **画像生成AIが広告制作の実務の中に急速に入ってきた。動画生成AIでアニメを作る動きもある。**
- **生成AIを企業や官庁の情報システムに組み込む動きが2024年から本格化か。生成AIを基軸としたITの長期ブーム（7～8年？）到来か。**
- **マイクロソフト、アマゾン・ドット・コム、メタ・プラットフォームズに注目したい。**
- **エヌビディアの存在感は大きくなる一方だろう。**

GAFAM各社の生成AI

社名	生成AIまたは生成AI系サービス	コメント
マイクロソフト	ChatGPT	アメリカのAI研究機関「オープンAI」が開発。無料版はGPT3.5→GPT3.5Turbo、有料版は現在GPT4.0Turboを搭載。2022年11月30日に一般公開され生成AIブームの火付け役となった。
	GPT-4	ChatGPTの次世代版。生成AIとしての能力が向上するとともに、画像生成機能が付いた。
	Microsoft Copilot	GPT-4の機能を取り込んだ業務支援ソフト。2023年11月1日発売。
アマゾン・ドット・コム	AMAZON BEDROCK	AWSの生成AIフルサービス。AI21 Labs、Anthropic、Cohere、Stability AI、METAなどの大規模言語モデルを選択できるフルマネージドサービスで、企業が生成系AIアプリケーションを開発することをサポートする。
	Amazon Q	企業向け生成AI（AIアシスタント）。「AMAZON BEDROCK」に接続し複数の大規模言語モデルを使う。有償提供。
	プロジェクト・ナイル	アマゾンの次世代型生成AI開発計画。一部で報道された。

出所：会社資料と各種報道より楽天証券作成

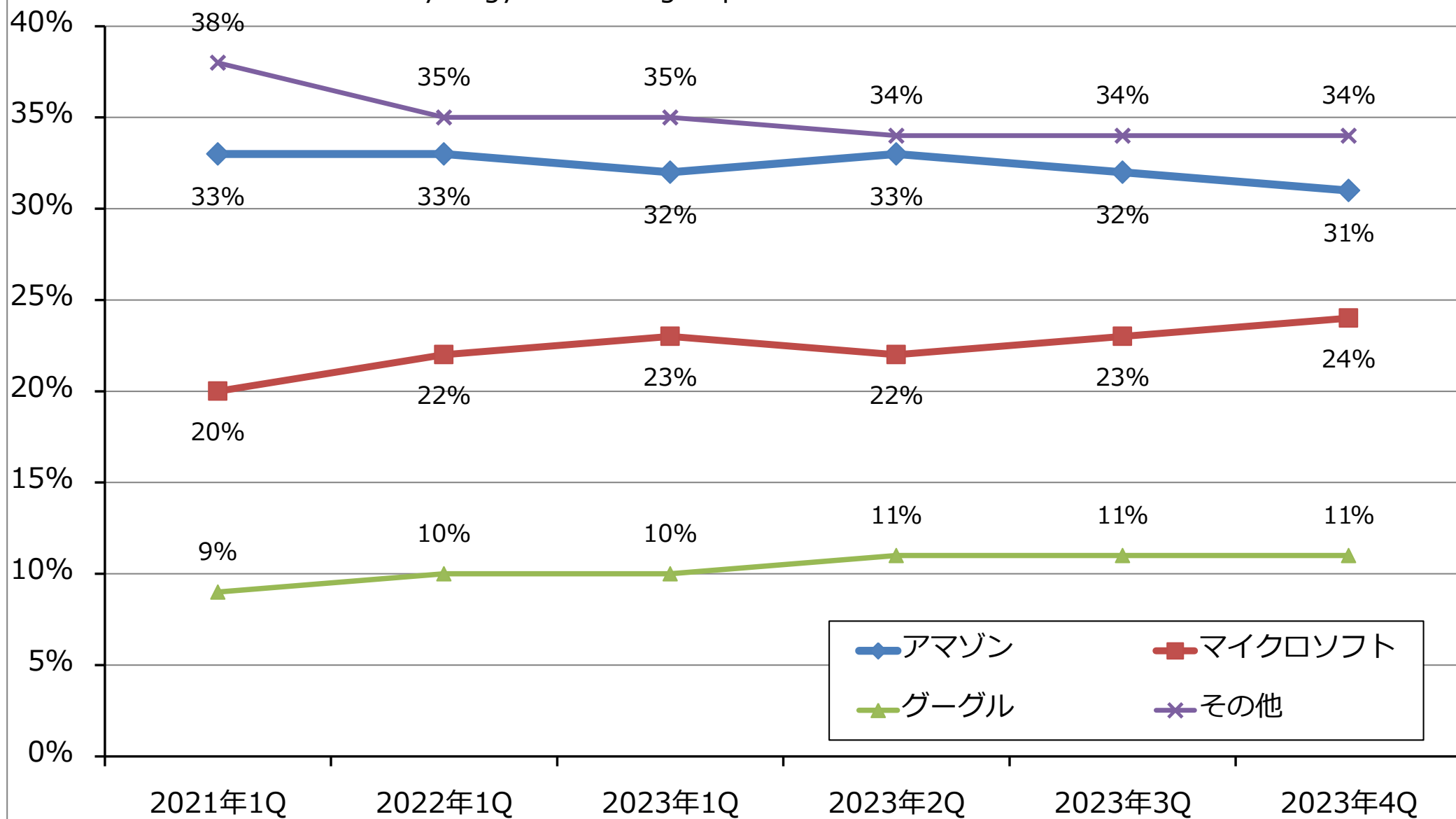
GAFAM各社の生成AI

社名	生成AIまたは生成AI系サービス	コメント
アルファベット（グーグル）	Google Bard	グーグルの対話型生成AI。試験運用中だったが「Gemini」に統合された。
	PaLM	グーグルの大規模言語モデル（LLM）。2022年4月公開。
	PaLM2	グーグルの大規模言語モデル（LLM）。PaLMの次世代版。2023年5月公開。
	Duet AI	「Microsoft Copilot」と同様の業務支援AI。2023年5月より有償提供。
	Google Gemini	2023年12月6日発表。グーグルの次世代型生成AI。
メタ・プラットフォームズ	LlaMA（ラーマ）	研究者向け大規模言語モデル
	LlaMA2	LlaMAの商用版。2023年10月からリリースした。無償提供。
	Code LlaMA	LlaMA2をベースにしたプログラムコード生成AI。2023年8月リリース。
	AIサンドボックス	メタ・プラットフォームズが自社の広告主向けに提供している生成AI。2023年10月リリース。
	META AI	消費者向け生成AI。AIとのチャット、画像生成が可能。
	imagine	META AIから分離した消費者向け画像生成AI。2023年12月提供開始。
アップル		2024年2月に開催した年次株主総会で、2024年内に具体的な生成AI戦略を公表するとした。また2024年3月に、アップルとグーグルが「Gemini」をiOSに搭載することを話し合っていると報じられた。

出所：会社資料と各種報道より楽天証券作成

クラウド・インフラストラクチャー・サービス市場の世界シェア

(出所：Synergy Research groupプレスリリースより楽天証券作成)



マイクロソフトの業績

	2022年6月期	2023年6月期	2024年6月期 楽天証券予想 (前回)	2024年6月期 楽天証券予想 (今回)	2025年6月期 楽天証券予想 (前回)	2025年6月期 楽天証券予想 (今回)
売上高	198,270	211,915	244,000	246,000	276,000	285,000
前年比	18.0%	6.9%	15.1%	16.1%	13.1%	15.9%
営業利益	83,383	88,523	108,000	112,000	128,000	136,000
営業利益率	42.1%	41.8%	44.3%	45.5%	46.4%	47.7%
前年比	19.3%	6.2%	22.0%	26.5%	18.5%	21.4%
当期純利益	72,738	72,361	87,000	90,200	103,000	109,400
前年比	18.7%	-0.5%	20.2%	24.7%	18.4%	21.3%
EPS	9.74	9.69	11.65	12.08	13.79	14.65
配当	2.48	2.72	3.00	3.00	3.00	3.00
PER	43.7	43.9	36.5	35.2	30.9	29.0

株価 425.52 ドル (2024年4月5日)

時価総額 3,162,465 百万ドル (2024年4月5日)

発行済株数 7,468 百万株 (完全希薄化後、Diluted)

発行済株数 7,432 百万株 (完全希薄化前、Basic)

単位：百万ドル、%、倍

出所：会社資料より楽天証券作成。

注1：当期純利益は親会社株主に帰属する当期純利益。

注2：EPSは完全希薄化後 (Diluted) 発行済株数で計算。ただし、時価総額は完全希薄化前 (Basic) で計算。

マイクロソフト：セグメント別業績（四半期）

	2023年6月期 1Q	2Q	3Q	4Q	2024年6月期 1Q	2Q	3Q会社予想
プロダクティビティ&ビジネスプロセス							
売上高	16,465	17,002	17,516	18,291	18,592	19,249	19,450
前年比	9.5%	6.7%	10.9%	10.2%	12.9%	13.2%	11.0%
営業利益	8,323	8,175	8,639	9,052	9,970	10,284	
営業利益率	50.5%	48.1%	49.3%	49.5%	53.6%	53.4%	
前年比	9.8%	6.3%	20.3%	25.1%	19.8%	25.8%	
インテリジェントクラウド							
売上高	20,325	21,508	22,081	23,993	24,259	25,880	26,150
前年比	19.8%	17.4%	15.9%	14.7%	19.4%	20.3%	18.4%
営業利益	8,978	8,904	9,476	10,526	11,751	12,461	
営業利益率	44.2%	41.4%	42.9%	43.9%	48.4%	48.1%	
前年比	18.7%	8.6%	14.4%	21.3%	30.9%	39.9%	
パーソナルコンピューティング他							
売上高	13,332	14,237	13,260	13,905	13,666	16,891	14,900
前年比	0.1%	-18.5%	-8.7%	-3.1%	2.5%	18.6%	12.4%
営業利益	4,217	3,320	4,237	4,676	5,174	4,287	
営業利益率	31.6%	23.3%	32.0%	33.6%	37.9%	25.4%	
前年比	-17.2%	-47.8%	-13.5%	1.2%	22.7%	29.1%	

単位：100万ドル

出所：会社資料より楽天証券作成

注：会社予想は予想レンジの平均値。

アマゾン・ドット・コム¹の業績

	2022年12月期	2023年12月期	2024年12月期 楽天証券予想 (前回)	2024年12月期 楽天証券予想 (今回)	2025年12月期 楽天証券予想 (今回)
売上高	513,983	574,785	641,000	650,000	735,000
前年比	9.4%	11.8%	11.5%	13.1%	13.1%
営業利益	12,248	36,852	50,000	58,000	80,000
営業利益率	2.4%	6.4%	7.8%	8.9%	10.9%
前年比	-50.8%	200.9%	35.7%	57.4%	37.9%
当期純利益	-2,722	30,425	42,000	48,700	67,200
前年比	赤転	黒転	38.0%	60.1%	38.0%
EPS	-0.26	2.87	3.96	4.59	6.33
配当	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
PER	-721.4	64.5	46.8	40.3	29.2

株価 185.07 ドル (2024年4月5日)

時価総額 1,916,585 百万ドル (2024年4月5日)

発行済株数 10,610 百万株 (完全希薄化後、Diluted)

発行済株数 10,356 百万株 (完全希薄化前、Basic)

単位：百万ドル、%、倍

出所：会社資料より楽天証券作成。

注1：当期純利益は親会社株主に帰属する当期純利益。

注2：EPSは完全希薄化後 (Diluted) 発行済株数で計算。ただし、時価総額は完全希薄化前 (Basic) で計算。

アマゾン・ドット・コム：セグメント別業績（四半期）

	2022年12月期 1Q	2Q	3Q	4Q	2023年12月期 1Q	2Q	3Q	4Q
北米								
売上高	69,244	74,430	78,843	93,363	76,881	82,546	87,887	105,514
前年比	7.6%	10.2%	20.3%	13.4%	11.0%	10.9%	11.5%	13.0%
営業利益	-1,568	-627	-412	-240	898	3,211	4,307	6,461
営業利益率	-2.3%	-0.8%	-0.5%	-0.3%	1.2%	3.9%	4.9%	6.1%
前年比	赤転	赤転	赤転	赤字	黒転	黒転	黒転	黒転
インターナショナル								
売上高	28,759	27,065	27,720	34,463	29,123	29,697	32,137	40,243
前年比	-6.2%	-11.9%	-4.9%	-7.5%	1.3%	9.7%	15.9%	16.8%
営業利益	-1,281	-1,771	-2,466	-2,228	-1,247	-895	-95	-419
営業利益率	-4.5%	-6.5%	-8.9%	-6.5%	-4.3%	-3.0%	-0.3%	-1.0%
前年比	赤転	赤転	赤字	赤字	赤字	赤字	赤字	赤字
AWS								
売上高	18,441	19,739	20,538	21,378	21,354	22,140	23,059	24,204
前年比	36.6%	33.3%	27.5%	20.2%	15.8%	12.2%	12.3%	13.2%
営業利益	6,518	5,715	5,403	5,205	5,123	5,365	6,976	7,167
営業利益率	35.3%	29.0%	26.3%	24.3%	24.0%	24.2%	30.3%	29.6%
前年比	56.6%	36.3%	10.6%	-1.7%	-21.4%	-6.1%	29.1%	37.7%

単位：百万ドル、%

出所：会社資料より楽天証券作成

アマゾン・ドット・コム：サービス別売上高

売上高	2022年12月期 1Q	2Q	3Q	4Q	2023年12月期 1Q	2Q	3Q	4Q
オンラインストア売上高	51,129	50,855	53,489	64,531	51,096	52,966	57,267	70,543
実店舗売上高	4,591	4,721	4,694	4,957	4,895	5,024	4,959	5,152
外部出店者向けサービス	25,335	27,376	28,666	36,339	29,820	32,332	34,342	43,559
サブスクリプションサービス	8,410	8,716	8,903	9,189	9,657	9,894	10,170	10,488
広告サービス	7,877	8,757	9,548	11,557	9,509	10,683	12,060	14,654
AWS	18,441	19,739	20,538	21,378	21,354	22,140	23,059	24,204
その他	661	1,070	1,263	1,253	1,027	1,344	1,226	1,361
合計売上高	116,444	121,234	127,101	149,204	127,358	134,383	143,083	169,961

前年比	2022年12月期 1Q	2Q	3Q	4Q	2023年12月期 1Q	2Q	3Q	4Q
オンラインストア売上高	-3.3%	-4.3%	7.1%	-2.3%	-0.1%	4.2%	7.1%	9.3%
実店舗売上高	17.1%	12.5%	10.0%	5.7%	6.6%	6.4%	5.6%	3.9%
外部出店者向けサービス	6.9%	9.1%	18.2%	19.9%	17.7%	18.1%	19.8%	19.9%
サブスクリプションサービス	10.9%	10.1%	9.3%	13.1%	14.8%	13.5%	14.2%	14.1%
広告サービス	23.4%	17.5%	25.4%	18.9%	20.7%	22.0%	26.3%	26.8%
AWS	36.6%	33.3%	27.5%	20.2%	15.8%	12.2%	12.3%	13.2%
その他	26.1%	131.1%	163.7%	76.5%	55.4%	25.6%	-2.9%	8.6%
合計売上高	7.3%	7.2%	14.7%	8.6%	9.4%	10.8%	12.6%	13.9%

単位：100万ドル、%

出所：会社資料より楽天証券作成

メタ・プラットフォームズの業績

	2022年12月期	2023年12月期	2024年12月期 楽天証券予想 (前回)	2024年12月期 楽天証券予想 (今回)	2025年12月期 楽天証券予想 (今回)
売上高	116,609	134,902	157,000	165,000	200,000
前年比	-1.1%	15.7%	16.4%	22.3%	21.2%
営業利益	28,944	46,751	58,000	66,000	86,000
営業利益率	24.8%	34.7%	36.9%	40.0%	43.0%
前年比	-38.1%	61.5%	24.1%	41.2%	30.3%
当期純利益	23,200	39,098	47,900	56,100	73,100
前年比	-41.1%	68.5%	22.5%	43.5%	30.3%
EPS	8.82	14.87	18.21	21.33	27.79
配当	0.00	0.00	0.00	2.00	2.00
PER	59.8	35.5	29.0	24.7	19.0

株価 527.34 ドル (2024年4月5日)

時価総額 1,353,154 百万ドル (2024年4月5日)

発行済株数 2,630 百万株 (完全希薄化後、Diluted)

発行済株数 2,566 百万株 (完全希薄化前、Basic)

単位：百万ドル、%、倍

出所：会社資料より楽天証券作成。

注1：当期純利益は親会社株主に帰属する当期純利益。

注2：EPSは完全希薄化後（Diluted）発行済株数で計算。ただし、時価総額は完全希薄化前（Basic）で計算。

メタ・プラットフォームズのセグメント別業績（四半期）

	2022年12月期 1Q	2Q	3Q	4Q	2023年12月期 1Q	2Q	3Q	4Q
広告売上高	26,998	28,152	27,237	31,254	28,101	31,498	33,643	38,706
前年比	6.1%	-1.5%	-3.7%	-4.2%	4.1%	11.9%	23.5%	23.8%
その他収入	215	218	192	184	205	225	293	334
前年比	8.6%	13.5%	9.1%	18.7%	-4.7%	3.2%	52.6%	81.5%
ファミリー・オブ・アプス売上高計	27,213	28,370	27,429	31,438	28,306	31,723	33,936	39,040
前年比	6.1%	-1.4%	-3.6%	-4.1%	4.0%	11.8%	23.7%	24.2%
ファミリー・オブ・アプス営業利益	11,484	11,164	9,336	10,678	11,219	13,131	17,490	21,030
同営業利益率	42.2%	39.4%	34.0%	34.0%	39.6%	41.4%	51.5%	53.9%
前年比	-13.0%	-24.6%	-28.5%	-32.8%	-2.3%	17.6%	87.3%	96.9%
リアリティ・ラブス売上高	695	452	285	727	339	276	210	1,071
前年比	30.1%	48.2%	-48.9%	-17.1%	-51.2%	-38.9%	-26.3%	47.3%
リアリティ・ラブス営業利益	-2,960	-2,806	-3,672	-4,279	-3,992	-3,739	-3,742	-4,646
同営業利益率	---	---	---	---	---	---	---	---
前年比	---	---	---	---	---	---	---	---
合計								
売上高	27,908	28,822	27,714	32,165	28,645	31,999	34,146	40,111
前年比	6.6%	-0.9%	-4.5%	-4.5%	2.6%	11.0%	23.2%	24.7%
営業利益	8,524	8,358	5,664	6,399	7,227	9,392	13,748	16,384
同営業利益率	30.5%	29.0%	20.4%	19.9%	25.2%	29.4%	40.3%	40.8%
前年比	-25.1%	-32.4%	-45.7%	-49.2%	-15.2%	12.4%	142.7%	156.0%

単位：100万ドル

出所：会社資料より楽天証券作成

アルファベットの業績

	2022年12月期	2023年12月期	2024年12月期 楽天証券予想 (前回)	2024年12月期 楽天証券予想 (今回)	2025年12月期 楽天証券予想 (今回)
売上高	282,836	307,394	345,000	352,000	402,000
前年比	9.8%	8.7%	12.2%	14.5%	14.2%
営業利益	74,842	84,293	104,000	105,000	126,000
営業利益率	26.5%	27.4%	30.1%	29.8%	31.3%
前年比	-4.9%	12.6%	23.4%	24.6%	20.0%
当期純利益	59,972	73,795	89,800	91,900	110,200
前年比	-21.1%	23.0%	21.7%	24.5%	19.9%
EPS	4.76	5.86	7.13	7.29	8.74
配当	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
PER	32.0	26.0	21.4	20.9	17.4

株価(GOOG) 152.50 ドル (2024年4月5日)

時価総額 1,904,420 百万ドル (2024年4月5日)

発行済株数 12,602 百万株 (完全希薄化後、Diluted)

発行済株数 12,488 百万株 (完全希薄化前、Basic)

単位：百万ドル、%、倍

出所：会社資料より楽天証券作成。

注1：当期純利益は親会社株主に帰属する当期純利益。

注2：EPSは完全希薄化後（Diluted）発行済株数で計算。ただし、時価総額は完全希薄化前（Basic）で計算。

アルファベットのセグメント別業績（四半期）

	2022年12月期 1Q	2Q	3Q	4Q	2023年12月期 1Q	2Q	3Q	4Q
グーグル検索他	39,618	40,689	39,539	42,604	40,359	42,628	44,026	48,020
前年比	24.3%	13.5%	4.3%	-1.6%	1.9%	4.8%	11.3%	12.7%
ユーチューブ広告	6,869	7,340	7,071	7,963	6,693	7,665	7,952	9,020
前年比	14.4%	4.8%	-1.9%	-7.8%	-2.6%	4.4%	12.5%	13.3%
グーグル・ネットワーク	8,174	8,259	7,872	8,475	7,496	7,850	7,669	8,297
前年比	20.2%	8.7%	-1.6%	-8.9%	-8.3%	-5.0%	-2.6%	-2.1%
グーグル広告小計	54,661	56,288	54,482	59,042	54,548	58,143	59,647	65,517
前年比	22.3%	11.6%	2.5%	-3.6%	-0.2%	3.3%	9.5%	11.0%
グーグル・サブスクリプション、 プラットフォーム&デバイス	6,811	6,553	6,895	8,796	7,413	8,142	8,339	10,794
前年比	4.9%	-1.1%	2.1%	7.8%	8.8%	24.2%	20.9%	22.7%
グーグル・サービス合計	61,472	62,841	61,377	67,838	61,961	66,285	67,986	76,311
前年比	20.1%	10.1%	2.5%	-2.3%	0.8%	5.5%	10.8%	12.5%
グーグル・サービス営業利益	21,973	21,621	18,883	20,222	21,737	23,454	23,937	26,730
同営業利益率	35.7%	34.4%	30.8%	29.8%	35.1%	35.4%	35.2%	35.0%
前年比	12.4%	-3.2%	-21.2%	-22.2%	-1.1%	8.5%	26.8%	32.2%

単位：100万ドル

出所：会社資料より楽天証券作成

アルファベットのセグメント別業績（四半期）

	2022年12月期 1Q	2Q	3Q	4Q	2023年12月期 1Q	2Q	3Q	4Q
グーグル・クラウド売上高	5,821	6,276	6,868	7,315	7,454	8,031	8,411	9,192
前年比	43.8%	35.6%	37.6%	32.0%	28.1%	28.0%	22.5%	25.7%
グーグル・クラウド営業利益	-706	-590	-440	-186	191	395	266	864
同営業利益率	-12.1%	-9.4%	-6.4%	-2.5%	2.6%	4.9%	3.2%	9.4%
前年比	赤字	赤字	赤字	赤字	黒転	黒転	黒転	黒転
その他のベッツ売上高	440	193	209	226	288	285	297	657
前年比	122.2%	0.5%	14.8%	24.9%	-34.5%	47.7%	42.1%	190.7%
その他のベッツ営業利益	-835	-1,339	-1,225	-1,237	-1,225	-813	-1,194	-863
同営業利益率	-189.8%	-693.8%	-586.1%	-547.3%	-425.3%	-285.3%	-402.0%	-131.4%
前年比	赤字	赤字	赤字	赤字	赤字	赤字	赤字	赤字
ヘッジ損益（売上高）	278	375	638	669	84	3	-1	150
配賦不能本社経費等	-338	-239	-83	-639	-3,288	-1,198	-1,666	-3,034
合計								
売上高	68,011	69,685	69,092	76,048	69,787	74,604	74,604	86,310
前年比	23.0%	12.6%	6.1%	1.0%	2.6%	7.1%	8.0%	13.5%
営業利益	20,094	19,453	17,135	18,160	17,415	21,838	21,347	23,697
同営業利益率	29.5%	27.9%	24.8%	23.9%	25.0%	29.3%	28.6%	27.5%
前年比	22.2%	0.5%	-18.5%	-17.0%	-13.3%	12.3%	24.6%	30.5%

単位：100万ドル

出所：会社資料より楽天証券作成

アップルの業績

	2021年9月期	2022年9月期	2023年9月期	2024年9月期 楽天証券予想 (前回)	2024年9月期 楽天証券予想 (今回)	2025年9月期 楽天証券予想 (前回)	2025年9月期 楽天証券予想 (今回)
売上高	365,817	394,328	383,285	433,000	400,000	494,000	440,000
前年比	33.3%	7.8%	-2.8%	13.0%	4.4%	14.1%	10.0%
営業利益	108,949	119,437	114,301	140,000	130,000	165,000	148,000
営業利益率	29.8%	30.3%	29.8%	32.3%	32.5%	33.4%	33.6%
前年比	64.4%	9.6%	-4.3%	22.5%	13.7%	17.9%	13.8%
当期純利益	94,680	99,803	96,995	116,800	109,000	137,900	124,300
前年比	64.9%	5.4%	-2.8%	20.4%	12.4%	18.1%	14.0%
EPS	6.08	6.41	6.23	7.50	7.00	8.85	7.98
配当	0.8650	0.9200	0.9500	1.0000	0.9600	1.0000	1.0000
PER	27.9	26.5	27.2	22.6	24.2	19.2	21.3

株価 169.58 ドル (2024年4月5日)

時価総額 2,630,152 百万ドル (2024年4月5日)

発行済株数 15,576.6 百万株 (完全希薄化後、Diluted)

発行済株数 15,509.8 百万株 (完全希薄化前、Basic)

単位：百万ドル、%、倍

出所：会社資料より楽天証券作成。

注1：当期純利益は親会社株主に帰属する当期純利益。

注2：EPSは完全希薄化後 (Diluted) 発行済株数で計算。ただし、時価総額は完全希薄化前 (Basic) で計算。

アップル：カテゴリ別売上高（四半期ベース）

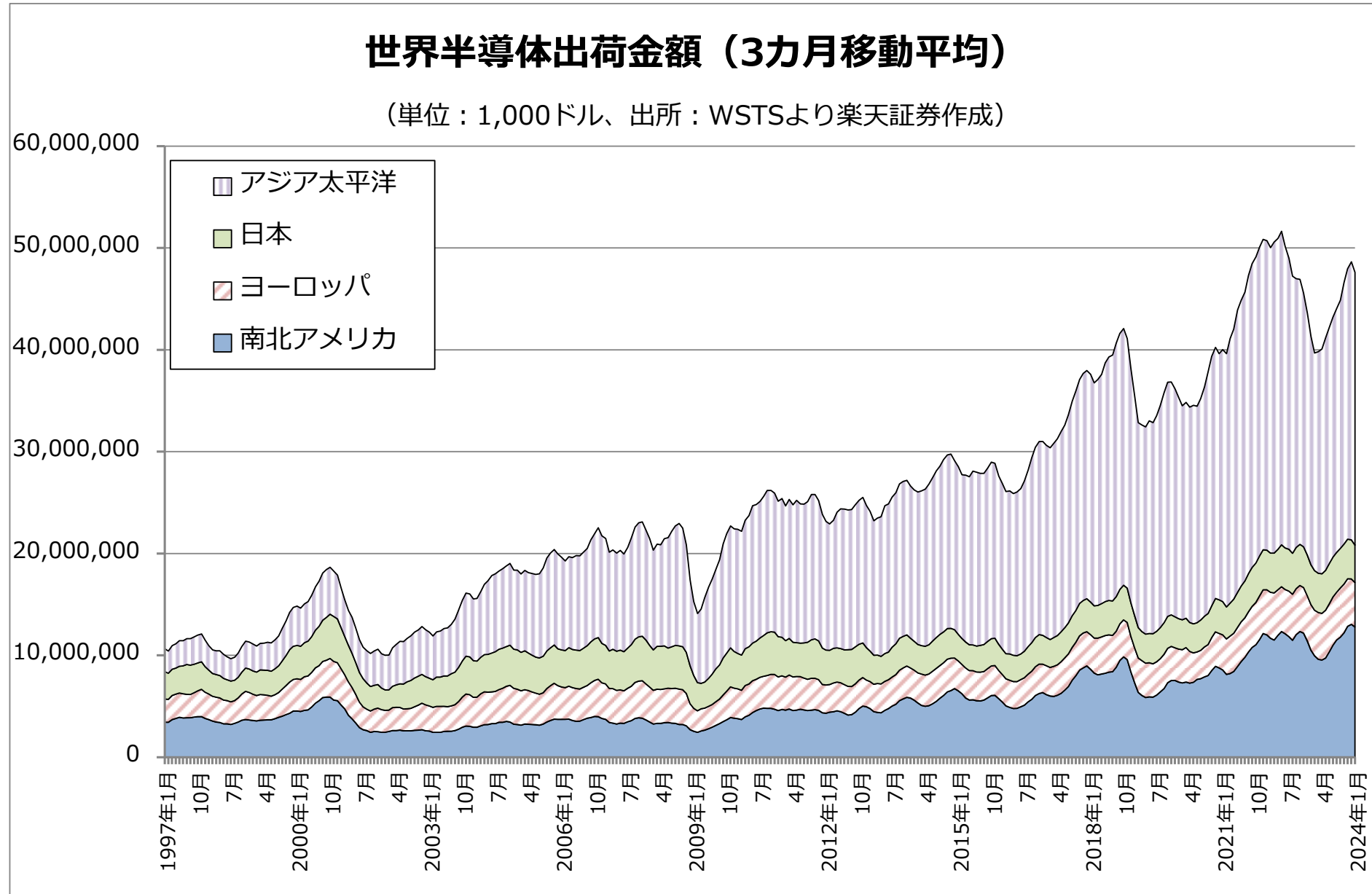
実額	2022年9月期 1Q	2Q	3Q	4Q	2023年9月期 1Q	2Q	3Q	4Q	2024年9月期 1Q
iPhone	71,628	50,570	40,665	42,626	65,775	51,334	39,669	43,805	69,702
Mac	10,852	10,435	7,382	11,508	7,735	7,168	6,840	7,614	7,780
iPad	7,248	7,646	7,224	7,174	9,396	6,670	5,791	6,443	7,023
ウェアラブル・ホーム&アクセサリ	14,701	8,806	8,084	9,650	13,482	8,757	8,284	9,322	11,953
サービス	19,516	19,821	19,604	19,188	20,766	20,907	21,213	22,314	23,117
合計	123,945	97,278	82,959	90,146	117,154	94,836	81,797	89,498	119,575

前年比	2022年9月期 1Q	2Q	3Q	4Q	2023年9月期 1Q	2Q	3Q	4Q	2024年9月期 1Q
iPhone	9.2%	5.5%	2.8%	9.7%	-8.2%	1.5%	-2.4%	2.8%	6.0%
Mac	25.1%	14.6%	-10.4%	25.4%	-28.7%	-31.3%	-7.3%	-33.8%	0.6%
iPad	-14.1%	-2.1%	-2.0%	-13.1%	29.6%	-12.8%	-19.8%	-10.2%	-25.3%
ウェアラブル・ホーム&アクセサリ	13.3%	12.4%	-7.9%	9.8%	-8.3%	-0.6%	2.5%	-3.4%	-11.3%
サービス	23.8%	17.3%	12.1%	5.0%	6.4%	5.5%	8.2%	16.3%	11.3%
合計	11.2%	8.6%	1.9%	8.1%	-5.5%	-2.5%	-1.4%	-0.7%	2.1%

単位：100万ドル

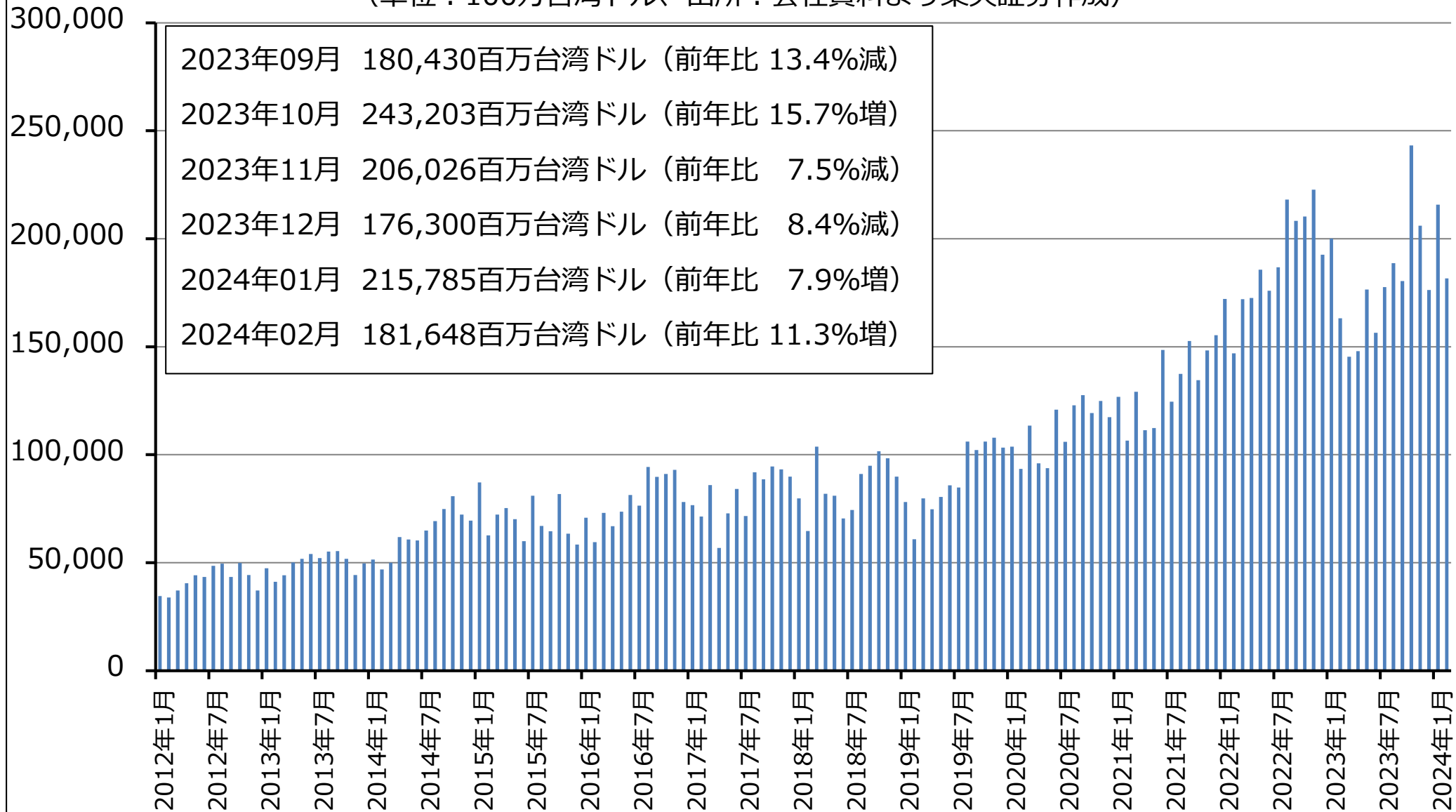
出所：会社資料より楽天証券作成

2. AI半導体 – エヌビディアは何をしようとしているのか –



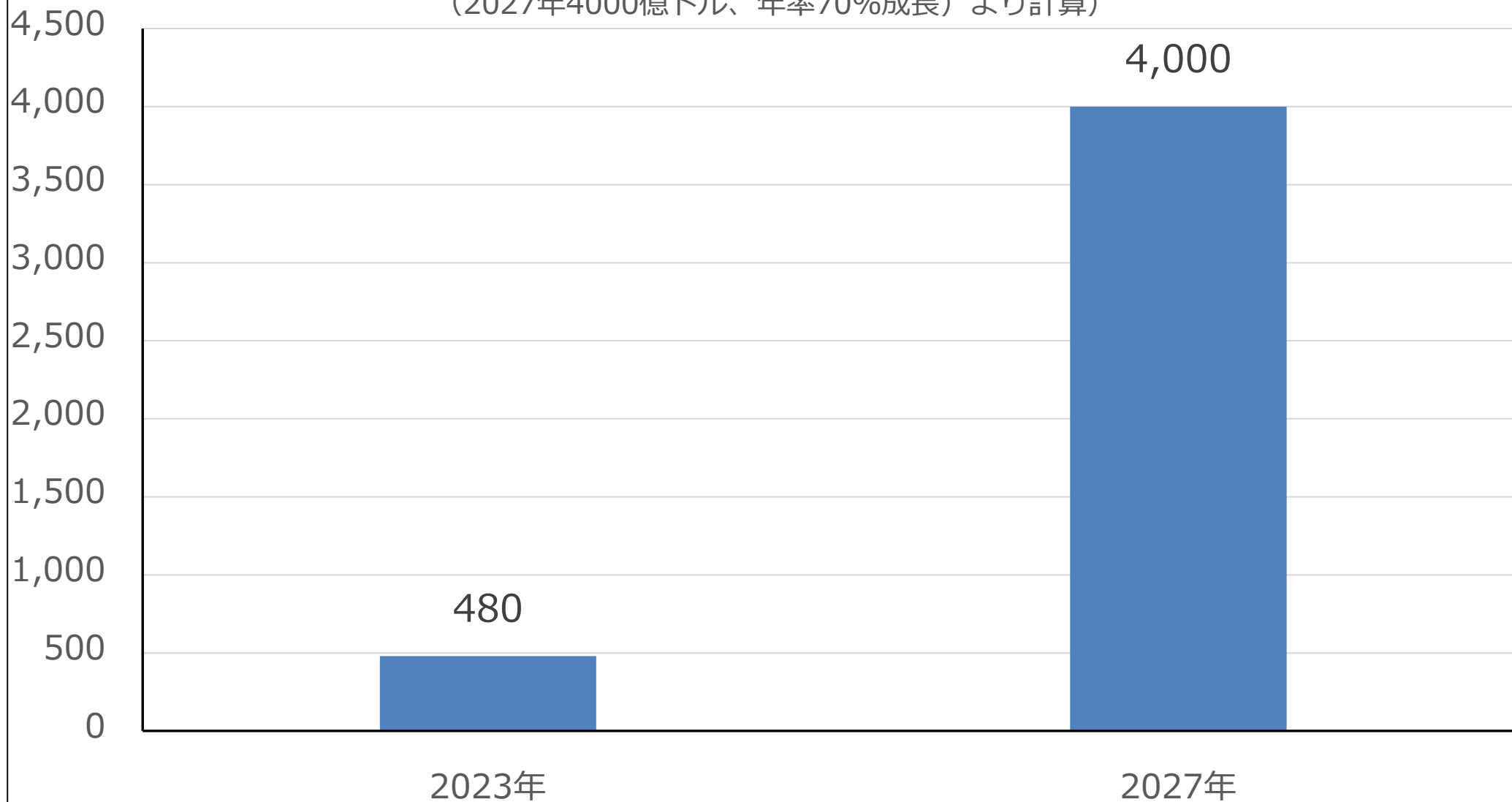
TSMCの月次売上高

(単位：100万台湾ドル、出所：会社資料より楽天証券作成)



AI半導体の世界市場予測

(単位：億ドル、出所：AMDより楽天証券作成、2023年はAMDのコメント
(2027年4000億ドル、年率70%成長)より計算)



●AI半導体とは

- ✓AI半導体とは、AIの学習、推論を行う半導体の総称。AIの駆動、開発に使う。
- ✓AIの機能：「ディープラーニング」によって大量の学習素材（各種の出版物、記事、画像、映像等）を学習し、「推論」する（大規模言語モデルの場合は、質問者、命令者が正しいと考えるであろう言葉の組み合わせを提示する）。
- ✓今のAIは「専門AI」であり、ものは考えていない。「万能AI」（考える機械）は各国で開発中だが、完成していない。
- ✓10年以上前は「ディープラーニング」「推論」ともCPUで行っていたが、2012年頃に出た複数の学術論文によって、「ディープラーニング」はGPUで行ったほうが早く効率的ということがわかった。ここから「ディープラーニング」はGPU、「推論」はCPUで行うようになった。
- ✓エヌビディアの「H100」は推論性能が大幅に向上→GPUで「ディープラーニング」と「推論」の両方を行うことが可能になった。

● AI半導体市場

- ✓エヌビディア：「H100」「H200」（2024年4-6月期出荷開始）、「Blackwell」シリーズ（2024年後半出荷開始）。
- ✓AMD：「Instinct MI250」「Instinct MI300シリーズ」（2023年10-12月期出荷開始）。
- ✓クラウドサービス会社の内製AI半導体：AWS（アマゾン・ドット・コム）の「Trainium」（学習用）と「Inferentia」（推論用）、グーグル・クラウド（アルファベット）の「TPU（テンソル・プロセッシング・ユニット）」、Azure（マイクロソフト）のAIアクセラレータ「マイア」（2024年前半に稼働開始）。
- ✓インテル：生成AI処理機能強化型CPU、ディープラーニング専用半導体「Gaudi」。
- ✓新興半導体メーカーのAI半導体。
- ✓AI半導体の市場シェアは、楽天証券の推定では、エヌビディア90%前後、クラウドサービスの内製GPU5%前後、AMD5%前後。

● 「Blackwell」の製品体系（「GTC2024」で発表された）

- ✓ 「**B200**」：1個の「Blackwell GPU」に2080億トランジスタが搭載されている（「H100」は800億トランジスタ）。これを2個連結して一つのパッケージに納めたものが「B200」。
- ✓ 「**GB200**」：エヌビディアの自社製CPU「Grace」1個と「Blackwell GPU」2個を連結して1つのパッケージにしたものが「GB200」。
- ✓ 「**GB200NVL72**」：「36個の「Grace CPU」と72個の「Blackwell GPU」を連結し、30TBの「HBM3e」を搭載する。コンピュータシステムの中ではこれは一つのGPUとして認識される。
- ✓ 「**GB200NVL72 COMPUTE RACKS**」：8個（8基）の「GB200NVL72」を集めて液冷装置を付けたもの。おそらく、これが「Blackwell」ベースの製品体系の最上位機種になると思われる。
- ✓ 「**B100**」：「B100」も「Blackwell GPU」2個を連結してパッケージ化したものだが、「B200」よりも性能を落とした下位機種になる模様。

● 「Blackwell GPU」の価格は3~4万ドル

✓2024年3月19日（火）にCNBCが放送したエヌビディア・ファンCEOとのインタビューによれば、「Blackwell GPU」の価格（エヌビディアの出荷価格）は、30,000~40,000ドル。

✓「Blackwell」開発にかかった研究開発費は約100億ドル（約1.5兆円）。

✓CNBCウェブ記事によれば、「H100」の価格は25,000~40,000ドル（アナリスト推計）。

● 「Blackwell GPU」の重要ターゲットは、「シミュレーション」か

✓「GTC2024」では、各分野のシミュレーション、あるいはデジタルツイン（現実のデータをデジタル空間上で再現して、様々なシミュレーションをリアルタイムで行うこと）を強調。

✓臓器、遺伝子、タンパク質の合成などの薬品・バイオと医療分野、化学、気象、自動車、航空宇宙、工場などに関する科学技術計算や、設計、研究開発に使うシミュレーション用システム（シミュレーター）は、高額なスーパーコンピューターを使うものが多いが、高性能AIサーバーで行う場合は、その費用は大きく低下すると思われる。

✓高精細CGの高速駆動が必要な場合は、「Blackwell」が圧倒的に有利になるろう。

✓これが実現すれば、製造業に革命が起こる？

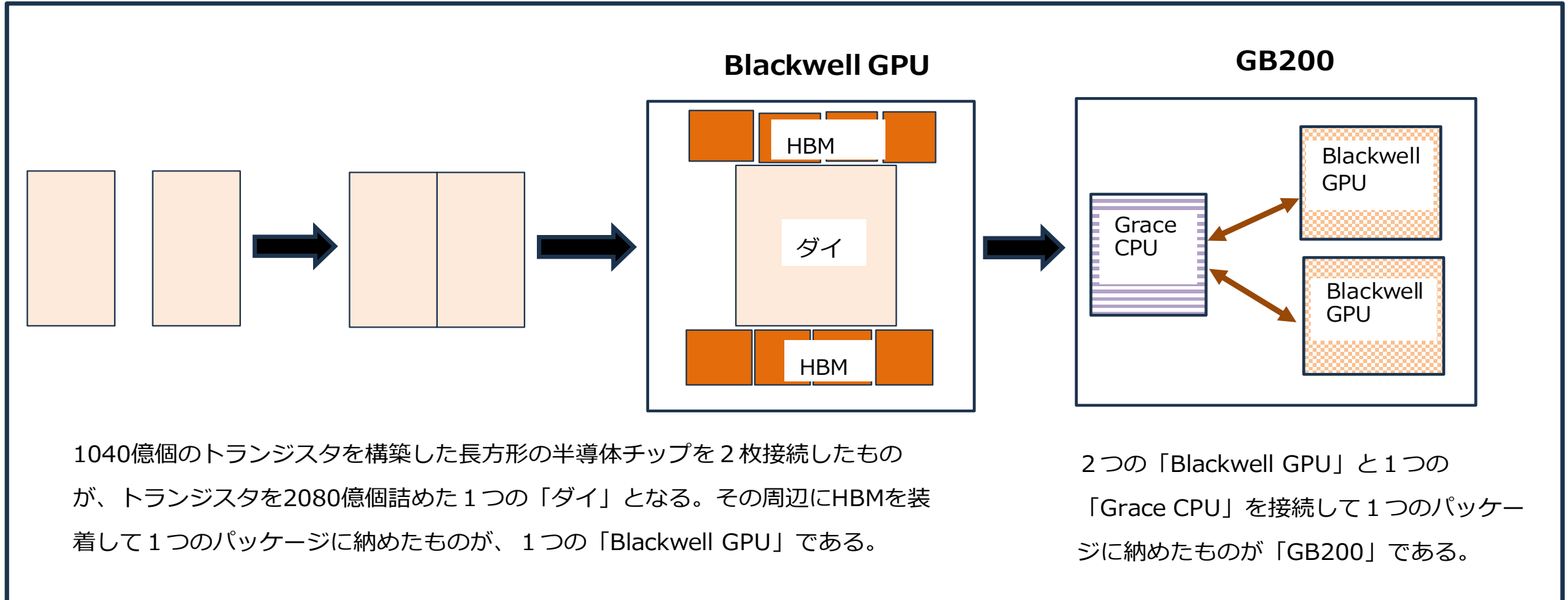
エヌビディアのAI用GPUロードマップ（「GTC2024」基調講演を踏まえた楽天証券による修正(再修正)後）

2021年	2023年	2024年	2024~2025年	(接続するCPUの) アーキテクチャー	特徴・強化点 (推論とトレーニング (学習))
		GH200NVL	GB200NVL72	Arm	学習と推論
		↑	↑		
		GH200	GB200	Arm	推論
		↑	↑		
A100	→ H100	→ H200	→ B200	x86	学習と推論
		↘	↓		
		L40S	(B100)	x86	企業向け、推論
	Quantum (エヌビディアの高速ネットワーク機器群)	400G	→ 800G		InfiniBand AIインフラストラクチャー
	Spectrum-X (エヌビディアのイーサネット・プラットフォーム)	400G	→ 800G		企業向けイーサネットとハイパースケールAIインフラストラクチャー

出所：「NVIDIA Investor Presentation October 2023」26ページに楽天証券加筆

注：GTC2024のエヌビディアCEOによる基調講演では、「X100」に対するコメントがなかったため、2025年の「X100」系統の部分を省いた。

エヌビディア：「Blackwell GPU」の構築（模式図）



1040億個のトランジスタを構築した長方形の半導体チップを2枚接続したものが、トランジスタを2080億個詰めた1つの「ダイ」となる。その周辺にHBMを装着して1つのパッケージに納めたものが、1つの「Blackwell GPU」である。

2つの「Blackwell GPU」と1つの「Grace CPU」を接続して1つのパッケージに納めたものが「GB200」である。

H100/H200性能比較

大規模言語モデルを使った推論速度（H100に対して）	
Llama2 70B	1.9倍
GPT-3 175B	1.6倍
Llama2 13B	1.4倍
ハイパフォーマンスコンピューティングの計算速度	
Dual x86 CPUと比較した時のH200の計算速度	110倍
A100を1とした時のパフォーマンス	
H100	1.7倍
H200	2.0倍
エネルギー効率（H100との比較）	
エネルギー消費	50%
TCO（Total Cost of Ownership、IT関連設備の総保有コスト）	50%

出所：エヌビディア資料より楽天証券作成

H100/H200とB200/GB200/GB200NVL72の性能比較

H100対B200性能比較

リアルタイム大規模言語モデル推論	15倍
AIトレーニング性能	3倍
高速データ処理	2倍

H200対GB200

「H200」と「GB200」を比較すると推論性能は最大30倍高くなる。

省エネ性能（H100対GB200NVL72）

MoE（Mixture of Experts：特定のタスクに特化した複数のexpertを入力に対して切り替えることで性能を上げる機械学習の手法）1.5テラのGPTを90日間トレーニング（機械学習）する場合、**8000個の「H100」で15MW（メガワット）**の電力が必要になる。



これが「GB200NVL72」の場合は、**2000個の「Blackwell GPU」（28個の「GB200NVL72」）**で4MWの電力で済む。

出所：エヌビディア資料、「GTC2024」基調講演より楽天証券作成

エヌビディア : AI用GPUとHBM

AI用GPU製品名	H100	H200	Blackwell GPU	GB200	GB200NVL72
HBM					
型式	HBM2e	HBM3e	HBM3e	HBM3e	HBM3e
容量	80GB	141GB	192GB	384GB	30TB
HBM帯域幅	2TB/s	4.8TB/s	8TB/s	16TB/s	

出所 : エヌビディア資料、「GTC2024」基調講演より楽天証券作成

注 : 「B200」はエヌビディアから正式なスペックが開示されていないため割愛した。

エヌビディアの業績

	2023年1月期	2024年1月期	2025年1月期 楽天証券予想 (前回)	2025年1月期 楽天証券予想 (今回)	2026年1月期 楽天証券予想 (前回)	2026年1月期 楽天証券予想 (今回)
売上高	26,974	60,922	110,000	110,000	170,000	170,000
前年比	0.2%	125.9%	80.6%	80.6%	54.5%	54.5%
営業利益	4,224	32,972	70,000	70,000	118,000	118,000
営業利益率	15.7%	54.1%	63.6%	63.6%	69.4%	69.4%
前年比	-57.9%	680.6%	112.3%	112.3%	68.6%	68.6%
当期純利益	4,368	29,760	58,800	58,800	98,800	98,800
前年比	-55.2%	581.3%	97.6%	97.6%	68.0%	68.0%
EPS	1.75	11.95	23.61	23.61	39.68	39.68
配当	0.16	0.16	0.16	0.16	0.16	0.16
PER	501.7	73.6	37.3	37.3	22.2	22.2

株価 880.08 ドル (2024年4月5日)

時価総額 2,170,277 百万ドル (2024年4月5日)

発行済株数 2,490 百万株 (完全希薄化後、Diluted)

発行済株数 2,466 百万株 (完全希薄化前、Basic)

単位：百万ドル、%、倍

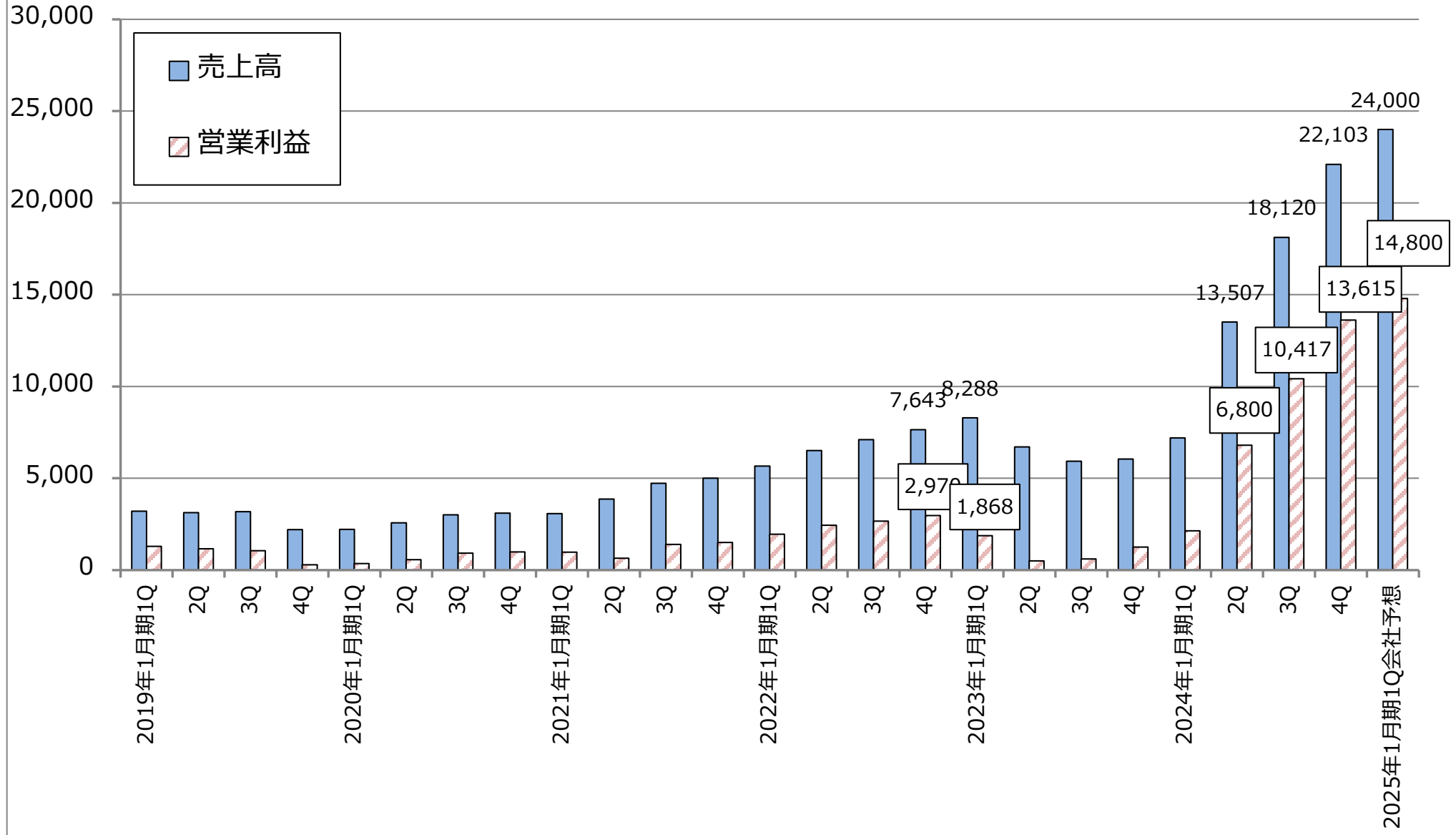
出所：会社資料より楽天証券作成。

注1：当期純利益は親会社株主に帰属する当期純利益。

注2：EPSは完全希薄化後 (Diluted) 発行済株数で計算。ただし、時価総額は完全希薄化前 (Basic) で計算。

エヌビディアの四半期業績

(単位：100万ドル、出所：会社資料より楽天証券作成。注：2025年1月期1Q会社予想は予想レンジの平均値)



TSMCの業績

	2021年12月期	2022年12月期	2023年12月期	2024年12月期 楽天証券予想 (前回)	2024年12月期 楽天証券予想 (今回)	2025年12月期 楽天証券予想 (今回)
売上高	1,587,415	2,263,891	2,161,736	2,500,000	2,670,000	3,260,000
前年比	18.5%	42.6%	-4.5%	15.6%	23.5%	22.1%
営業利益	649,981	1,121,279	921,466	1,080,000	1,120,000	1,460,000
営業利益率	40.9%	49.5%	42.6%	43.2%	41.9%	44.8%
前年比	14.7%	72.5%	-17.8%	17.2%	21.5%	30.4%
当期純利益	596,540	1,016,530	838,498	985,000	1,019,000	1,329,000
前年比	15.2%	70.4%	-17.5%	17.5%	21.5%	30.4%
EPS	23.01	39.20	32.34	37.99	39.30	51.26
配当	11.0	11.0	13.0	12.0	13.0	13.0
PER (台湾ベース)	33.9	19.9	24.1	20.5	19.8	15.2
EPS (ADRベースUSドル)	3.58	6.10	5.03	5.91	6.11	7.97
PER (ADRベース)	39.5	23.2	28.1	23.9	23.1	17.7

株価 (台湾) 780.00 台湾ドル (2024年4月3日)

株価 (NYSE ADR) 141.36 USドル (2024年4月5日)

時価総額 733,065 百万USドル (2024年4月5日)

発行済株数 25,929 百万株 (完全希薄化後)

1台湾ドル 0.0311 USドル (2024年4月5日)

単位：百万台湾ドル、台湾ドル、米ドル、%、倍

出所：会社資料より楽天証券作成。

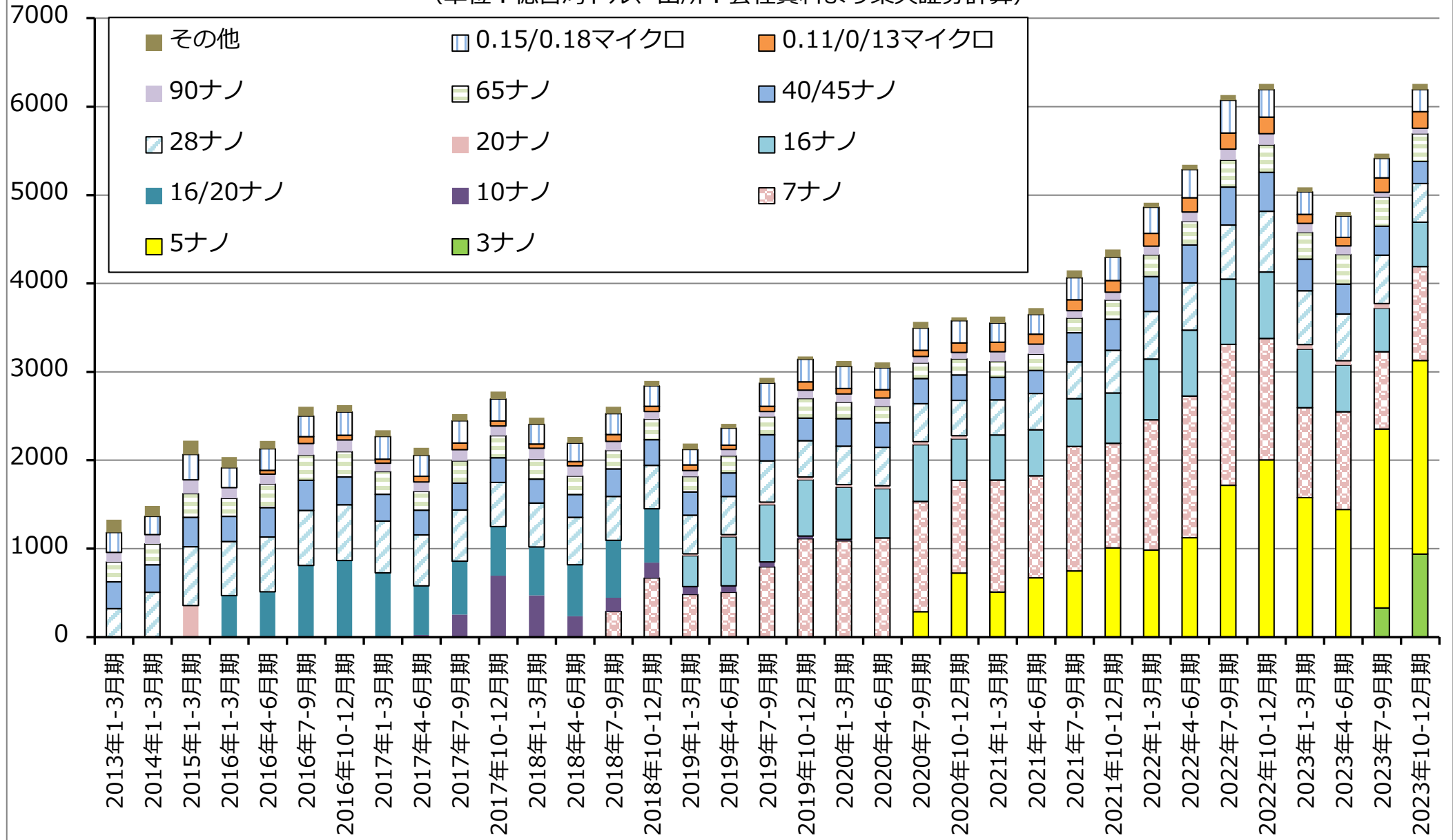
注1：当期純利益は親会社株主に帰属する当期純利益。

注2：TSMCは台湾市場に株式を、ニューヨーク市場にADRを上場している。ここではADRの株価によってPERと時価総額を計算した。

注3：TSMCのADRは普通株5株からなる。

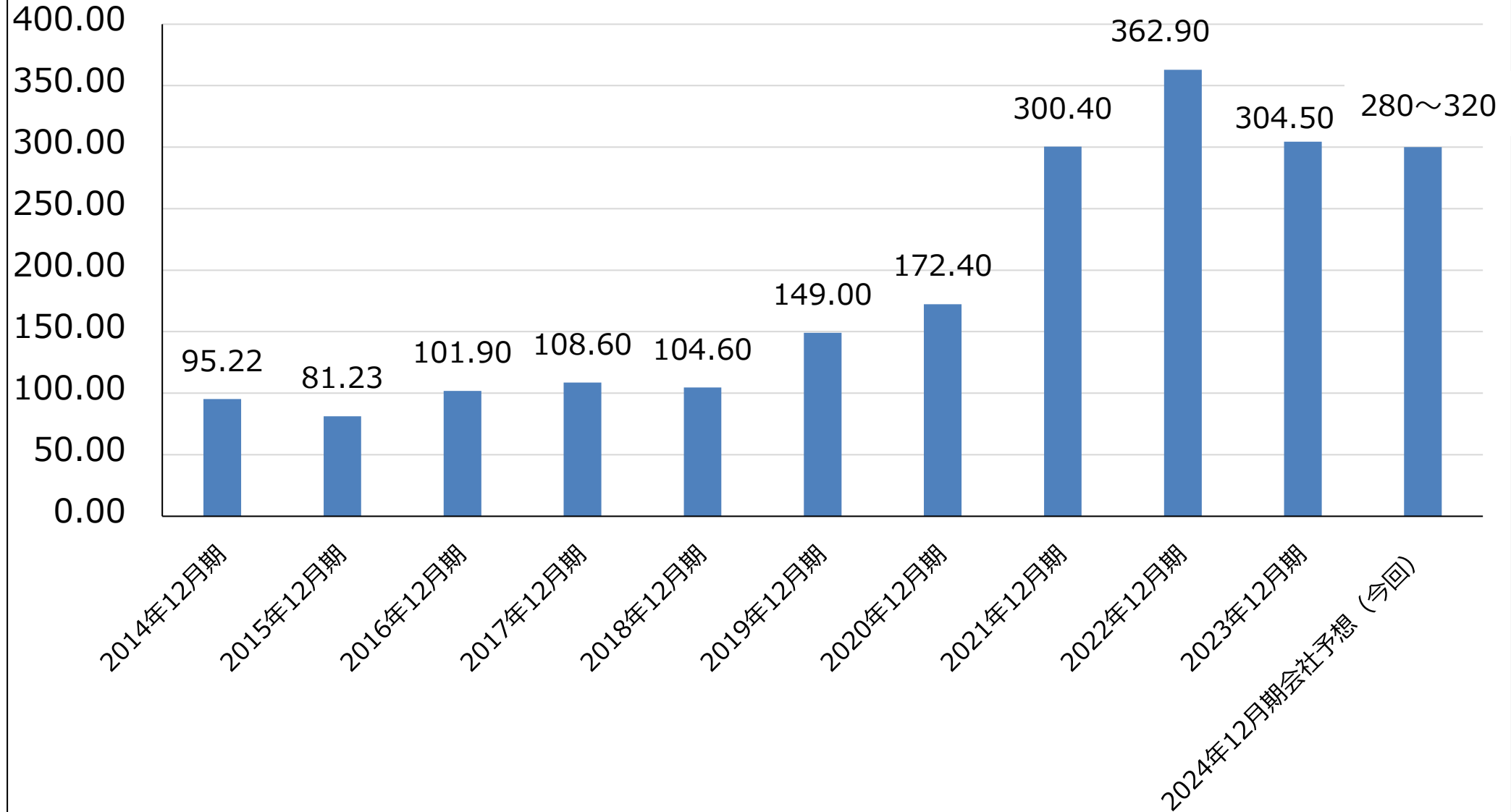
TSMCのテクノロジー別売上高

(単位：億台湾ドル、出所：会社資料より楽天証券計算)



TSMCの年間設備投資

(単位：億米ドル、出所：会社資料より楽天証券作成)



AMDの業績

	2022年12月期	2023年12月期	2024年12月期 楽天証券予想 (前回)	2024年12月期 楽天証券予想 (今回)	2024年12月期 楽天証券予想 (今回)
売上高	23,601	22,680	27,400	26,700	34,200
前年比	43.6%	-3.9%	20.8%	17.7%	28.1%
営業利益	1,264	401	3,400	3,000	6,600
営業利益率	5.4%	1.8%	12.4%	11.2%	19.3%
前年比	-65.4%	-68.3%	747.9%	648.1%	120.0%
当期純利益	1,320	854	2,900	2,560	5,620
前年比	-58.3%	-35.3%	239.6%	199.8%	119.5%
EPS	0.81	0.52	1.78	1.57	3.45
配当	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
PER	210.2	324.9	95.7	108.4	49.4

株価 170.42 ドル (2024年4月5日)

時価総額 275,399 百万ドル (2024年4月5日)

発行済株数 1,628 百万株 (完全希薄化後、Diluted)

発行済株数 1,616 百万株 (完全希薄化前、Basic)

単位：百万ドル、%、倍

出所：会社資料より楽天証券作成。

注1：当期純利益は親会社株主に帰属する当期純利益。

注2：EPSは完全希薄化後（Diluted）発行済株数で計算。ただし、時価総額は完全希薄化前（Basic）で計算。

データセンター・セグメント売上高内訳

	2022年12月期	2023年12月期 楽天証券推定	2024年12月期 会社予想	2024年12月期 楽天証券予想	2025年12月期 楽天証券予想
サーバー用CPU等 前年比	60	60 0.0%		72 20.0%	87 20.8%
AI半導体 前年比	0	5 #DIV/0!	35	40 700.0%	80 100.0%
合計 前年比	60	65 8.3%		112 72.3%	167 49.1%

単位：億ドル

出所：会社資料、2023年12月期4Q決算電話会議より楽天証券作成。予想は楽天証券。

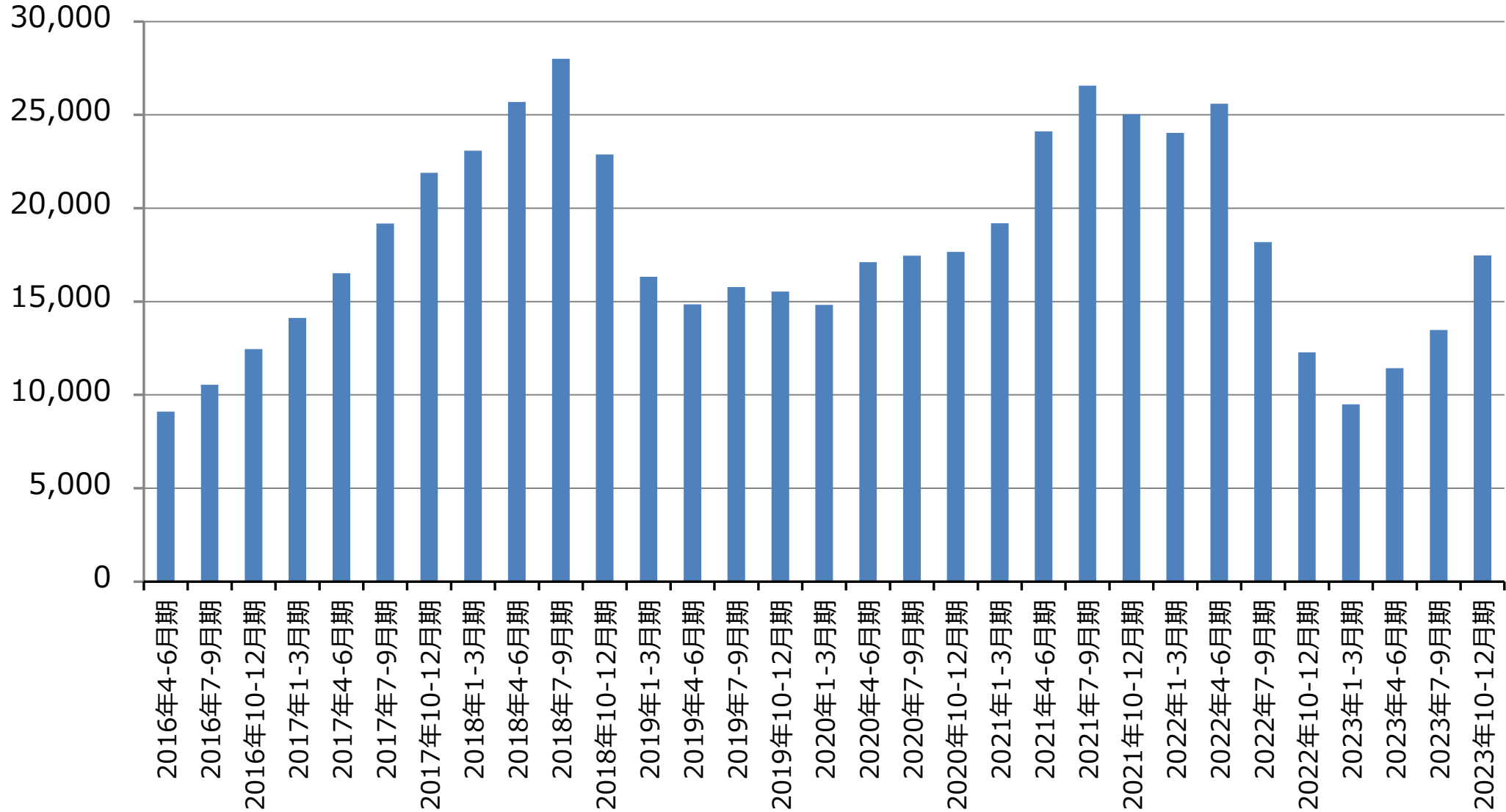
●AI半導体ブームが半導体メモリにも波及してきた

- ✓AI用GPUには、HBM（DRAMの最新規格「DDR5」をベースとした高速、広帯域の特殊メモリ）が必ず付随する。AI用GPUの需要急増に合わせて、HBMの需要も急増。
- ✓AIサーバーのスペック拡大に合わせて、DDR5を使ったメインメモリの容量も大容量化（最新型AIサーバーの最高スペックは、「H100」8～10基、最新型サーバー用CPU2基、メインメモリ（DDR5）4～8テラバイト）、SSD122.88TB搭載可能（デルの場合）。
- ✓AIスマートフォン、AIパソコンも、メインメモリ、ストレージの容量が増加。
- ✓DRAM大手（サムスン電子、SKハイニックス、マイクロン・テクノロジー）はHBMに優先的に設備投資しており、AIサーバーの需要急増によって、DDR5の需給が逼迫してきた。
- ✓2023年のHBM推定市場シェアは、SKハイニックス46～49%、サムスン電子46～49%、マイクロン4～6%。マイクロンは最新型の「HBM3e」を出荷開始しているため、2024年はマイクロンのシェアが上昇すると予想される。

DRAM売上高

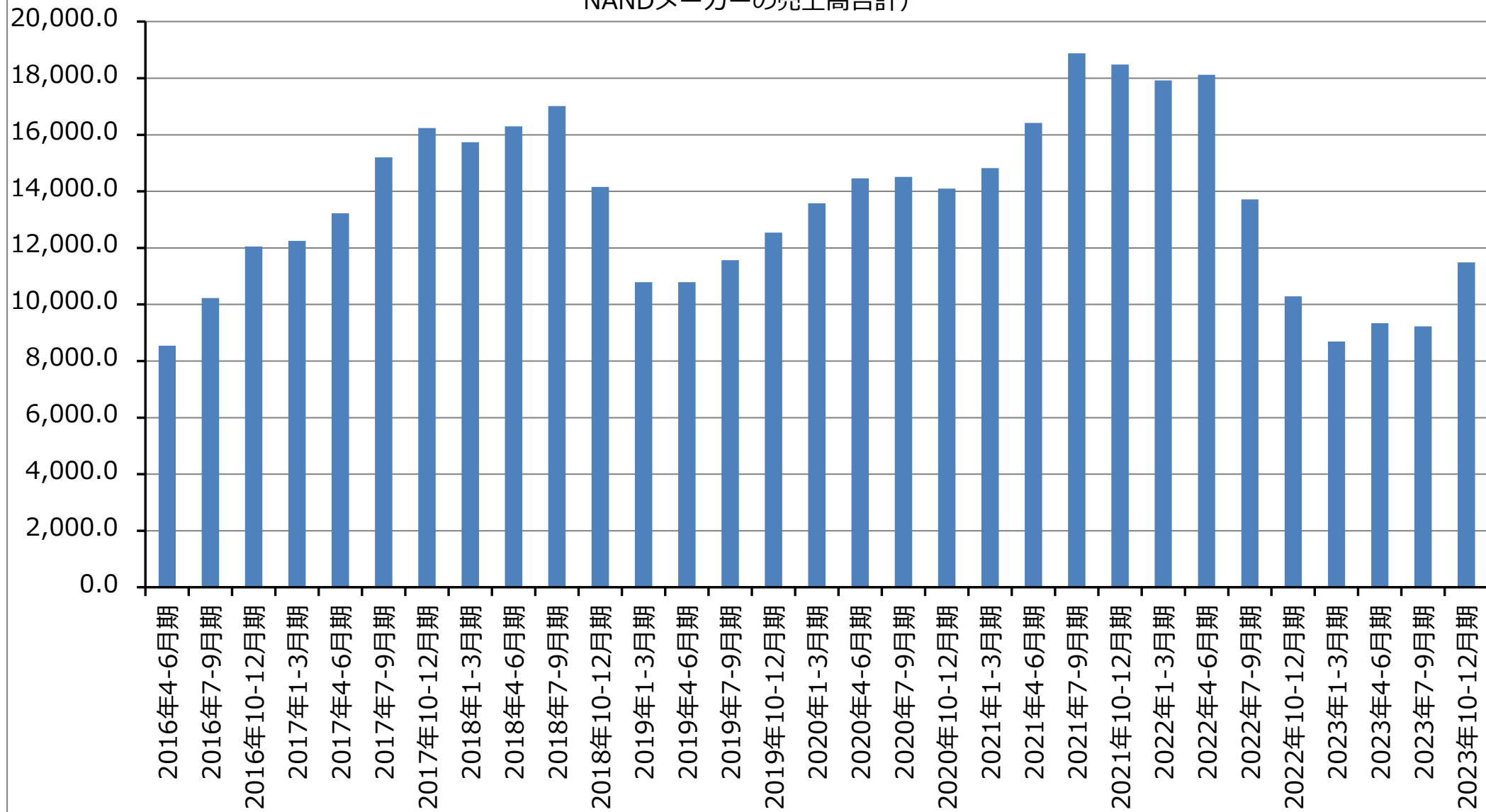
(単位：100万ドル、出所：TrendForceプレスリリースより楽天証券作成。)

DRAMメーカーの売上高合計)



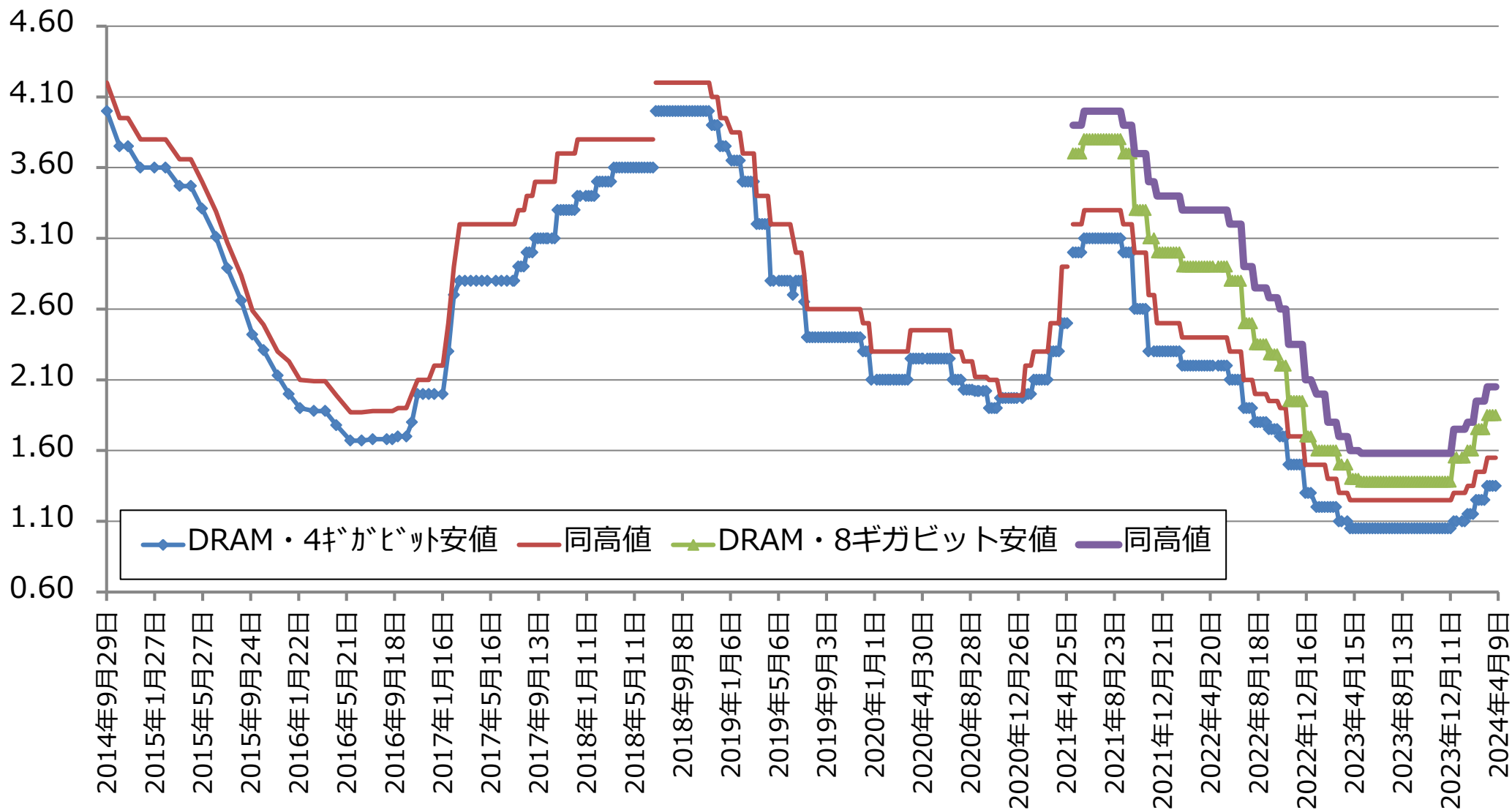
NAND型フラッシュメモリ売上高

(単位：100万ドル、出所：TrendForceプレスリリースより楽天証券作成、
NANDメーカーの売上高合計)



DRAMの市況

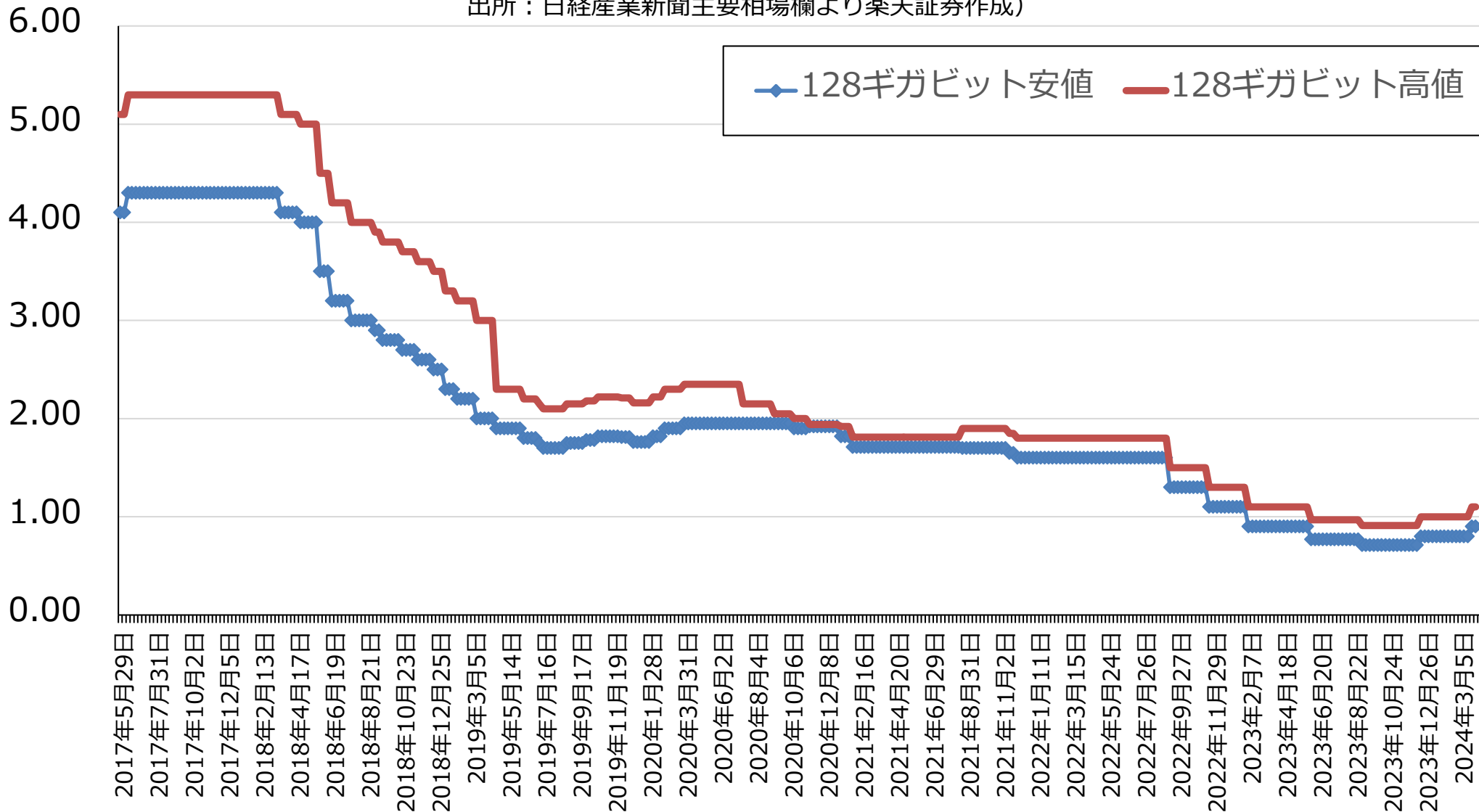
(単位：ドル、国内大口需要家渡し、4ギガビット (2018年6月26日までDDR3、2018年7月3日からDDR4、2021年5月11日からDDR3)、8ギガビット (DDR4)、出所：日経産業新聞主要相場欄より楽天証券作成)



NAND型フラッシュメモリの市況（2017年5月29日から）

（単位：ドル、国内大口需要家渡し、TLC（注：2017年5月30日付で従来の多値品がTLCに変更された）、

出所：日経産業新聞主要相場欄より楽天証券作成）



マイクロン・テクノロジーの業績

	2023年8月期 1Q	2Q	3Q	4Q	2024年8月期 1Q	2Q	3Q会社予想
売上高	4,085	3,693	3,752	4,010	4,726	5,824	6,600
前年比	-46.9%	-52.6%	-56.6%	-39.6%	15.7%	57.7%	75.9%
営業利益	-209	-2,303	-1,761	-1,472	-1,128	191	573
営業利益率	-5.1%	-62.4%	-46.9%	-36.7%	-23.9%	3.3%	8.7%
前年比	赤転	赤転	赤転	赤転	赤字	黒転	黒転
当期純利益	-195	-2,312	-1,896	-1,430	-1,234	793	189
前年比	赤転	赤転	赤転	赤転	赤字	黒転	黒転

単位：100万ドル、%

出所：会社資料より楽天証券作成。

注1：当期純利益は親会社株主に帰属する当期純利益。

注2：会社予想は予想レンジの平均値。

マイクロン・テクノロジーの業績

	2021年8月期	2022年8月期	2023年8月期	2024年8月期 楽天証券予想 (前回)	2024年8月期 楽天証券予想 (今回)	2025年8月期 楽天証券予想 (前回)	2025年8月期 楽天証券予想 (今回)
売上高	27,705	30,758	15,540	22,800	25,000	31,000	42,000
前年比	29.3%	11.0%	-49.5%	46.7%	60.9%	36.0%	68.0%
営業利益	6,283	9,702	-5,745	-400	800	6,000	9,500
営業利益率	22.7%	31.5%	-37.0%	-1.8%	3.2%	19.4%	22.6%
前年比	109.2%	54.4%	赤転	赤字	黒転	黒転	1087.5%
当期純利益	5,861	8,687	-5,833	-700	400	5,400	8,070
前年比	118.1%	48.2%	赤転	赤字	黒転	黒転	1917.5%
EPS	5.26	7.80	-5.24	-0.63	0.36	4.85	7.24
配当	0.00	0.43	0.46	0.46	0.46	0.46	0.46
PER	23.5	15.8	-23.6	-196.7	344.2	25.5	17.1

株価 (NASDAQ) 123.58 ドル (2024年4月5日)

時価総額 136,432 百万ドル (2024年4月5日)

発行済株数 1,114 百万株(希薄化後、Diluted)

発行済株数 1,104 百万株(希薄化前、Basic)

単位：100万ドル、%

出所：会社資料より楽天証券作成。

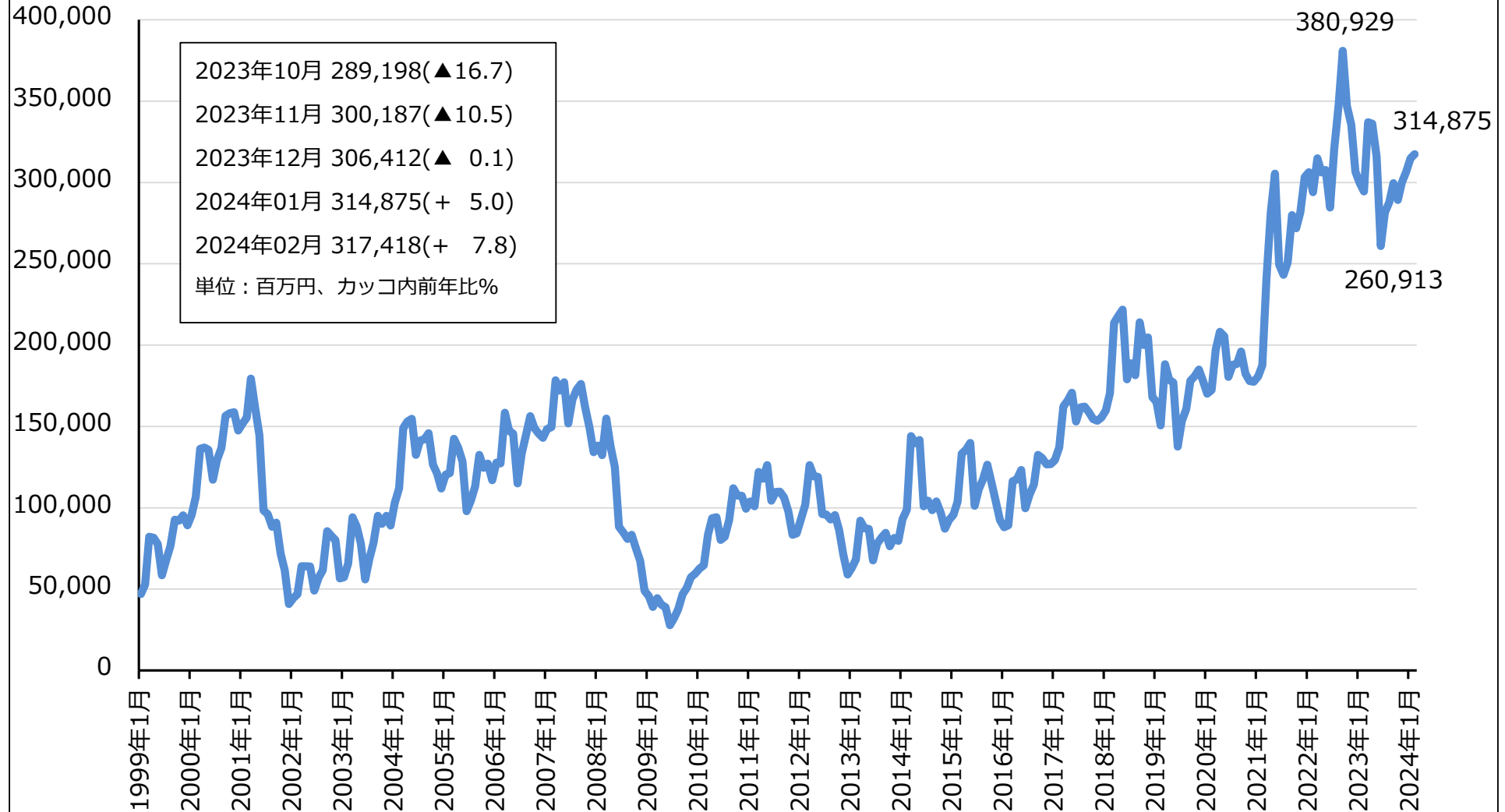
注1：当期純利益は親会社株主に帰属する当期純利益。

注2：EPSは完全希薄化後 (Diluted) 発行済株数で計算。ただし、時価総額は完全希薄化前 (Basic) で計算。

3. 半導体製造装置

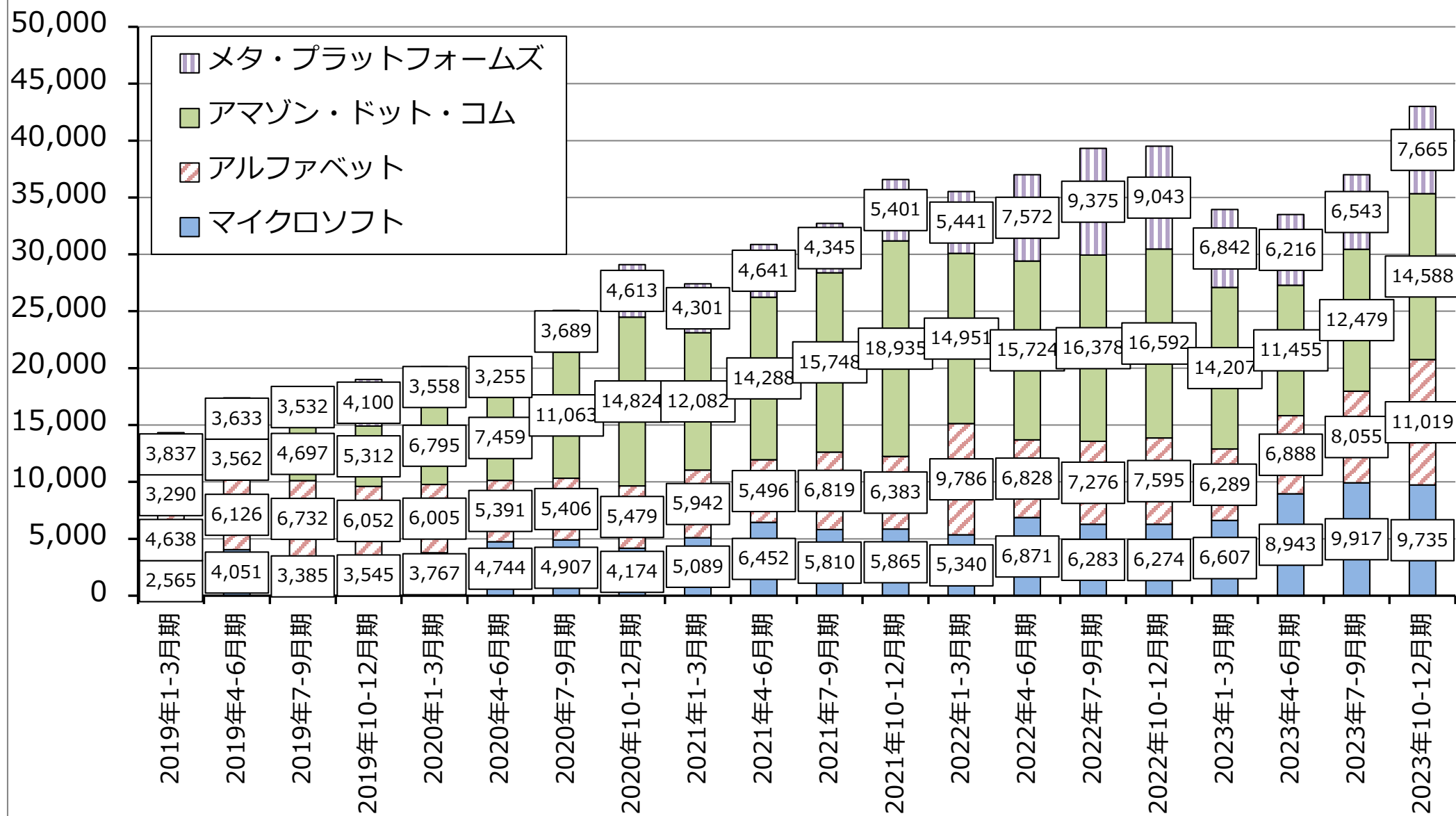
日本製半導体製造装置販売高（3カ月移動平均）

（出所：日本半導体製造装置協会、単位：100万円、%）



アメリカの大手IT設備投資動向：四半期

(単位：100万ドル、出所：各社資料より楽天証券作成)



半導体製造装置の主要製品市場シェア(2022年): 1

前工程	
コータ/デベロッパ	①東京エレクトロン 89%、②セメス 5%、③キングセミ 3%、 ④SCREENホールディングス 3%
ドライエッチング装置 (プラズマエッチングその他)	①ラムリサーチ 48%、②東京エレクトロン 25%、 ③アプライド・マテリアルズ 15%、④日立ハイテク 4%、⑤ナウラ 3%
ALD (原子層堆積) 成膜装置	①ASMI 48%、②東京エレクトロン 19%、③ラムリサーチ 12%、④ジェソン 8%
CVD	①東京エレクトロン 43%、②KOKUSAI ELECTRIC 24%、③ラムリサーチ 20%、 ④アプライド・マテリアルズ 10%
プラズマCVD	①アプライド・マテリアルズ 51%、②ラムリサーチ 35%、③ウォニックIPS 5%、 ④テス 3%
PVD	①アプライド・マテリアルズ 85%、②アルバック 5%、③KLA 5%
酸化/拡散成膜装置	①東京エレクトロン 49%、②KOKUSAI ELECTRIC 34%、③ASMI 12%
CMP装置 (2021年)	①アプライド・マテリアルズ 68%、②荏原製作所 26%
洗浄装置 (枚葉式)	①SCREENホールディングス 35%、②東京エレクトロン 28%、 ③ラムリサーチ 17%、④セメス、⑤ACMリサーチ
洗浄装置 (バッチ式)	①SCREENホールディングス 46%、②東京エレクトロン 34%、③PMC 12%、 ④ナウラ 5%
ウェハプローバ(ウェハの検査機器)	①東京精密 44%、②東京エレクトロン 37%、③セミックス 11%、④セメス 5%

出所：会社資料、報道、ヒアリングより楽天証券作成。一部楽天証券推定。

半導体製造装置の主要製品市場シェア(2022年):2

前工程：続き	
露光装置：EUV	①ASML 100%
同：ArF液浸	①ASML 95%、②ニコン 5%
同：KrF	①ASML 72%、②キヤノン 24%、③ニコン 3%
同：i線	①キヤノン 66%、②ASML 24%、③ニコン 10%
フォトマスク欠陥検査装置	①レーザーテック 60%（EUV用でEUV光を使ったものは100%）、②KLA 40%
シリコンウェハ欠陥検査装置（量産用）	①KLA 100%（先端半導体向け）
後工程	
メモリ・テスト	①アドバンテスト 53%、②テラダイン35~40%
SoCテスト	①アドバンテスト 58%、②テラダイン30~35%
ダイサ（ウェハをチップに切り出す）	①ディスコ 80%、②東京精密、ADT
ボンダー（ICチップとリードフレームを接着する）	キューリック・アンド・ソファ、新川（ヤマハ発動機傘下）、芝浦メカトロニクスなど

出所：会社資料、報道、ヒアリングより楽天証券作成。一部楽天証券推定。

●2024、2025年の半導体設備投資

- ✓3ナノの増強：2024年秋発売の新型iPhoneは普及型、上位機種（Pro、ProMAX）とともに3ナノチップセット搭載へ。パソコン用CPUも3ナノへ。
- ✓2ナノ投資：2025年末に2ナノ量産開始（ウェハ投入開始）へ。
- ✓5ナノ、4ナノの増強：AI用GPUと最新型のサーバー用CPUの増産。
- ✓HBM、DRAM（DDR5）の増産投資。
- ✓中国の成熟ロジック半導体（20ナノから昔のロジック半導体）の設備投資。
- ✓アメリカでは人手不足のため半導体工場の建設が遅れ気味。アメリカ大統領選挙の結果を見て動く半導体メーカーもあろう。そのため、半導体設備投資は2025年も強い動きになると思われる。

●AI半導体の特徴

- ✓AI用GPUとHBMはダイ（半導体チップをダイという）が大きい。
- ✓ダイが大きい半導体は生産しにくく、検査しにくい→ディスコ（切る、削るの工程が増加）、アドバンテスト（大きなダイの半導体はテストに時間がかかる）、レーザーテック（大きなダイの半導体はフォトマスクに欠陥があると損失が大きくなるため、最新型のフォトマスク欠陥検査装置「A150」を使う）、東京エレクトロン（2024年はロジック、メモリ（HBM+DRAM（DDR5））両方の設備投資増加か）。
- ✓マイクロンによれば、DDR5と同じ容量の「HBM3e」を生産するには、DDR5の約3倍のウェハが必要。
- ✓HBMは特に製造工程が複雑。ディスコ（HBMのウェハを薄く削って8枚+1枚積層する。ウェハを薄く削って貫通電極を形成する（TSV）。クリーン度が高い前工程の近くにこの工程（中工程）があるため、ウェハを薄く削るためのグラインダが高い）。東京エレクトロン（HBMのウェハを積層する際に仮接続するボンディング装置で過半数のシェアを持つ）。

ディスコの業績

	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期 会社予想 (今回)	2024年3月期 楽天証券予想 (前回)	2024年3月期 楽天証券予想 (今回)	2025年3月期 楽天証券予想 (前回)	2025年3月期 楽天証券予想 (今回)
売上高	253,781	284,135	287,800	290,000	302,300	400,000	400,000
前年比	38.8%	12.0%	1.3%	2.1%	6.4%	37.9%	32.3%
営業利益	91,513	110,413	108,600	110,000	115,400	176,000	176,000
営業利益率	36.1%	38.9%	37.7%	37.9%	38.2%	44.0%	44.0%
前年比	72.3%	20.7%	-1.6%	-0.4%	4.5%	60.0%	52.5%
経常利益	92,449	112,338	109,100	110,500	115,900	177,000	177,000
前年比	72.4%	21.5%	-2.9%	-1.6%	3.2%	60.2%	52.7%
当期純利益	66,206	82,891	74,300	75,300	79,400	129,700	129,700
前年比	69.4%	25.2%	-10.4%	-9.2%	-4.2%	72.2%	63.4%
EPS	611.1	765.1	685.8	695.0	732.9	1,197.1	1,197.1
配当	269.0	305.0	255.0	260.0	270.0	440.0	440.0
PER (倍)	89.3	71.3	79.6	78.5	74.4	45.6	45.6

株価 54,560 円(2024/4/5)

発行済み株数 108,342 千株

時価総額 5,911,140 百万円(2024/4/5)

単位：百万円、円

出所：会社資料より楽天証券作成

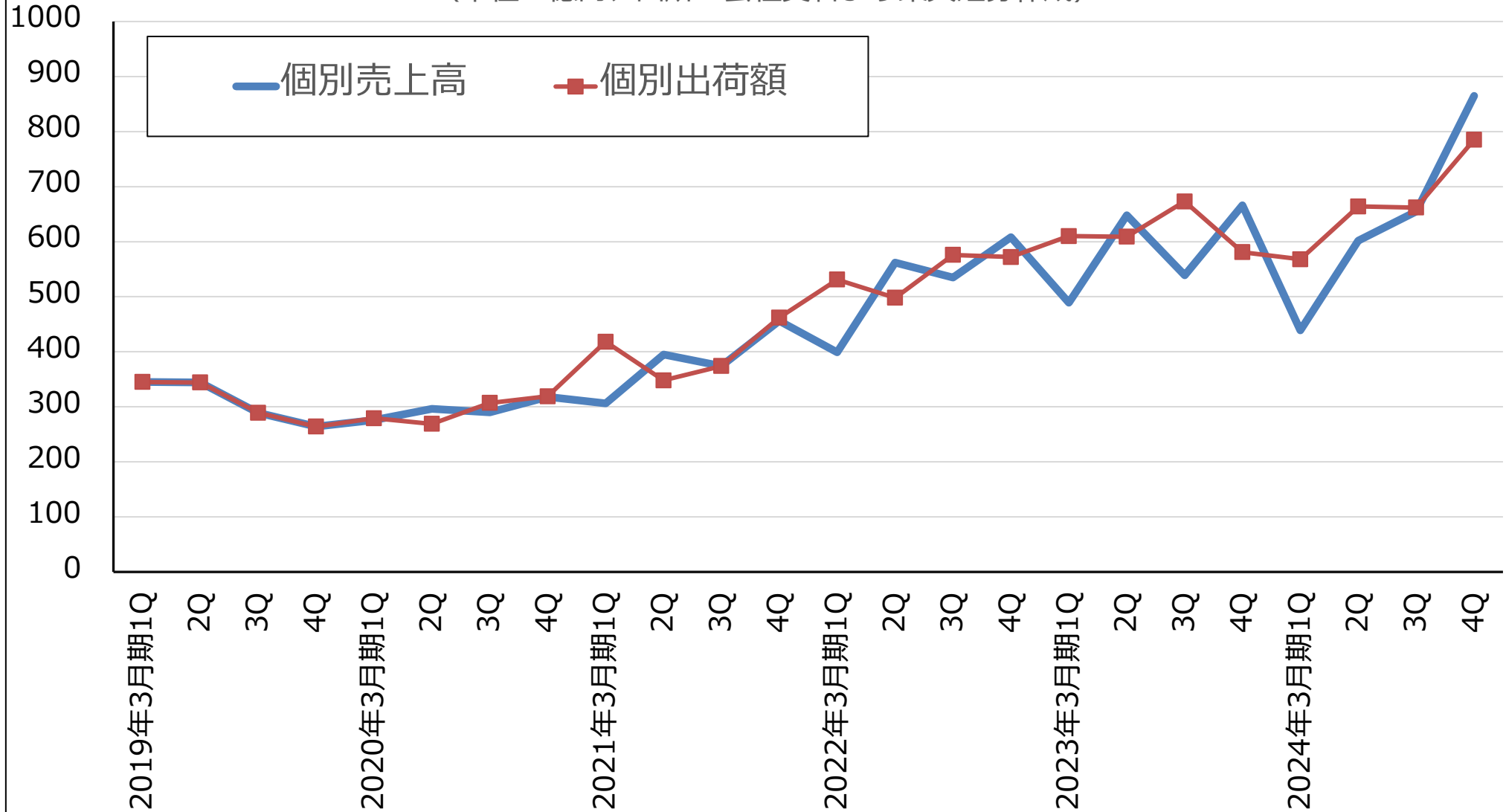
注1：当期純利益は親会社株主に帰属する当期純利益。

注2：発行済み株数は自己株式を除いたもの。

注3：2023年4月1日付けで1対3の株式分割を実施。これに対応して過去の配当額を遡及修正している。

ディスコ：個別（単独）売上高と出荷額

(単位：億円、出所：会社資料より楽天証券作成)



東京エレクトロンの業績

	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期 会社予想 (前回)	2024年3月期 会社予想 (今回)	2024年3月期 楽天証券予想 (前回)	2024年3月期 楽天証券予想 (今回)	2025年3月期 楽天証券予想 (前回)	2025年3月期 楽天証券予想 (今回)
売上高	2,003,805	2,209,025	1,730,000	1,830,000	1,790,000	1,830,000	2,240,000	2,300,000
前年比	43.2%	10.2%	-21.7%	-17.2%	-19.0%	-17.2%	25.1%	25.7%
営業利益	599,271	617,723	401,000	445,000	430,000	445,000	620,000	640,000
営業利益率	29.9%	28.0%	23.2%	24.3%	24.0%	24.3%	27.7%	27.8%
前年比	86.9%	3.1%	-35.1%	-28.0%	-30.4%	-28.0%	44.2%	43.8%
経常利益	601,724	625,185	404,000	450,000	432,000	450,000	620,000	640,000
前年比	86.8%	3.9%	-35.4%	-28.0%	-30.9%	-28.0%	43.5%	42.2%
当期純利益	437,076	471,584	307,000	340,000	328,000	340,000	471,000	483,600
前年比	79.9%	7.9%	-34.9%	-27.9%	-30.4%	-27.9%	43.6%	42.2%
EPS	944.2	1,018.7	663.2	734.5	708.6	734.5	1,017.5	1,044.7
配当	1,403.0	467.7	340.0	367.0	350.0	367.0	510.0	522.0
PER (倍)	39.5	36.6	56.2	50.7	52.6	50.7	36.6	35.7

株価 37,270 円(2024/4/5)

発行済み株数 462,905 千株

時価総額 17,252,469 百万円(2024/4/5)

単位：百万円、円

出所：会社資料より楽天証券作成

注1：当期純利益は親会社株主に帰属する当期純利益。

注2：発行済み株数は自己株式を除いたもの。

アドバンテストの業績

	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期 会社予想 (前回)	2024年3月期 会社予想 (今回)	2024年3月期 楽天証券予想 (前回)	2024年3月期 楽天証券予想 (今回)	2025年3月期 楽天証券予想 (前回)	2025年3月期 楽天証券予想 (今回)
売上高	416,901	560,191	470,000	480,000	480,000	480,000	590,000	600,000
前年比	33.3%	34.4%	-16.1%	-14.3%	-14.3%	-14.3%	22.9%	25.0%
営業利益	114,734	167,687	80,000	85,000	84,000	85,000	130,000	140,000
営業利益率	27.5%	29.9%	17.0%	17.7%	17.5%	17.7%	22.0%	23.3%
前年比	62.2%	46.2%	-52.3%	-49.3%	-49.9%	-49.3%	54.8%	64.7%
税引前利益	116,343	171,270	78,500	82,500	82,500	82,500	130,000	140,000
前年比	67.1%	47.2%	-54.2%	-51.8%	-51.8%	-51.8%	57.6%	69.7%
当期利益	87,301	130,400	60,000	64,500	63,100	64,500	99,400	109,400
前年比	25.1%	49.4%	-54.0%	-50.5%	-51.6%	-50.5%	57.5%	69.6%
EPS	118.3	176.7	81.3	87.4	85.5	87.4	134.7	148.2
配当	30.00	33.75			34.00	34.00	34.00	34.00
PER (倍)	51.1	34.2	74.3	69.1	70.7	69.1	44.9	40.8

株価 6,042 円(2024/4/5)

発行済み株数 738,176 千株

時価総額 4,460,059 百万円(2024/4/5)

単位：百万円、円

出所：会社資料より楽天証券作成

注1：当期利益は親会社の所有者に帰属する当期利益。

注2：発行済み株数は自己株式を除いたもの。

注3：2023年10月1日付けで1対4の株式分割を行った。表中の配当額は分割にあわせて遡及修正している。

レーザーテックの業績

	2022年6月期	2023年6月期	2024年6月期 会社予想 (前回)	2024年6月期 会社予想 (今回)	2024年6月期 楽天証券予想 (前回)	2024年6月期 楽天証券予想 (今回)	2025年6月期 楽天証券予想 (前回)	2025年6月期 楽天証券予想 (今回)
売上高	90,378	152,832	190,000	195,000	200,000	197,000	260,000	260,000
前年比	28.7%	69.1%	24.3%	27.6%	30.9%	28.9%	30.0%	32.0%
営業利益	32,492	62,287	64,000	67,000	72,000	68,000	105,000	105,000
営業利益率	36.0%	40.8%	33.7%	34.4%	36.0%	34.5%	40.4%	40.4%
前年比	24.6%	91.7%	2.8%	7.6%	15.6%	9.2%	45.8%	54.4%
経常利益	33,582	63,668	64,000	67,000	72,000	68,000	105,000	105,000
前年比	27.0%	89.6%	0.5%	5.2%	13.1%	6.8%	45.8%	54.4%
当期純利益	24,850	46,164	47,000	49,000	49,900	49,700	77,000	77,000
前年比	29.1%	85.8%	1.8%	6.1%	8.1%	7.7%	54.3%	54.9%
EPS	275.5	511.9	521.1	543.3	553.3	551.1	853.8	853.8
配当	97.0	180.0	183.0	191.0	205.0	205.0	299.0	299.0
PER (倍)	143.5	77.2	75.9	72.8	71.5	71.8	46.3	46.3

株価 39,540 円(2024/4/5)

発行済み株数 90,187 千株

時価総額 3,565,994 百万円(2024/4/5)

単位：百万円、円

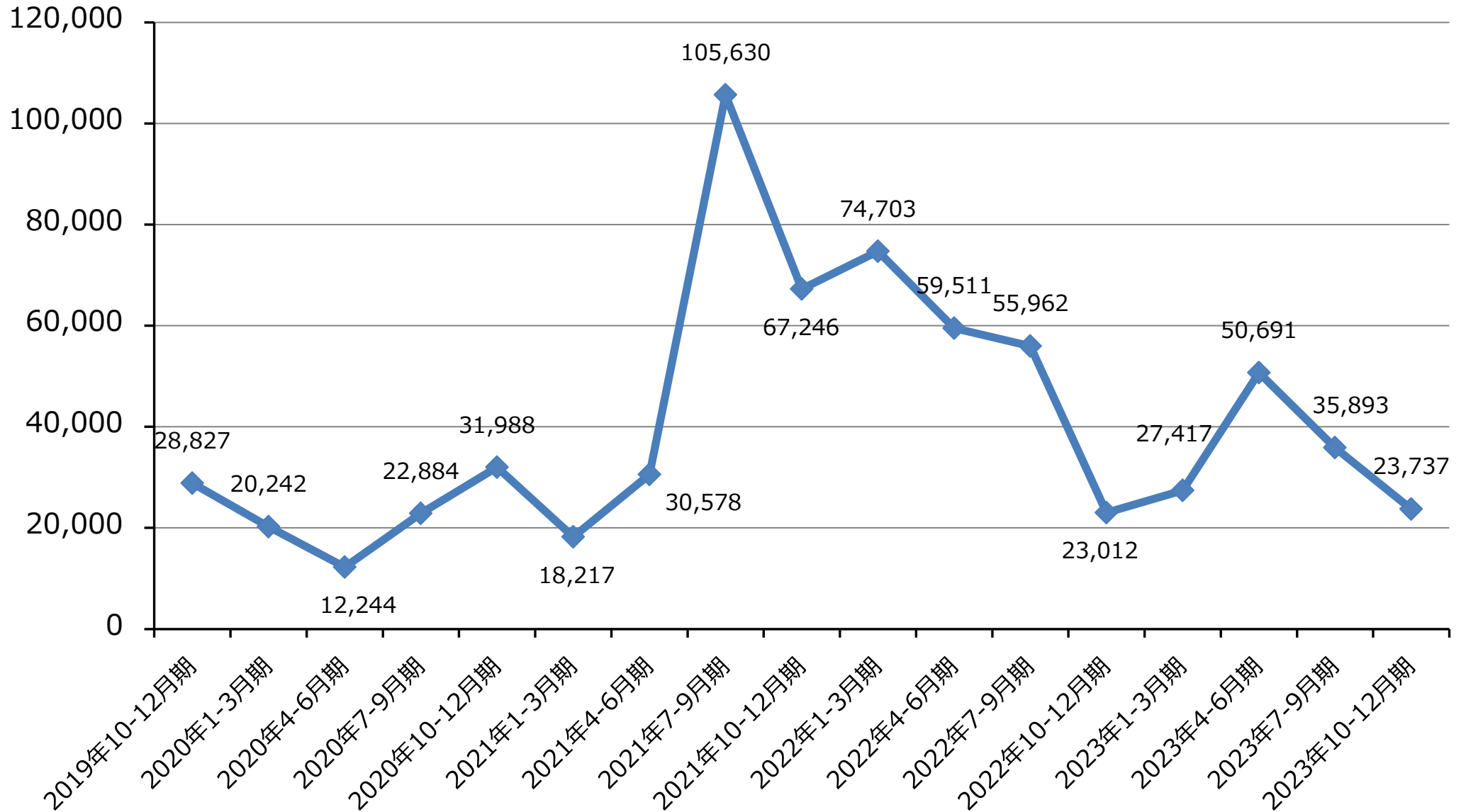
出所：会社資料より楽天証券作成

注1：当期純利益は親会社の所有者に帰属する当期純利益。

注2：発行済み株数は自己株式を除いたもの。

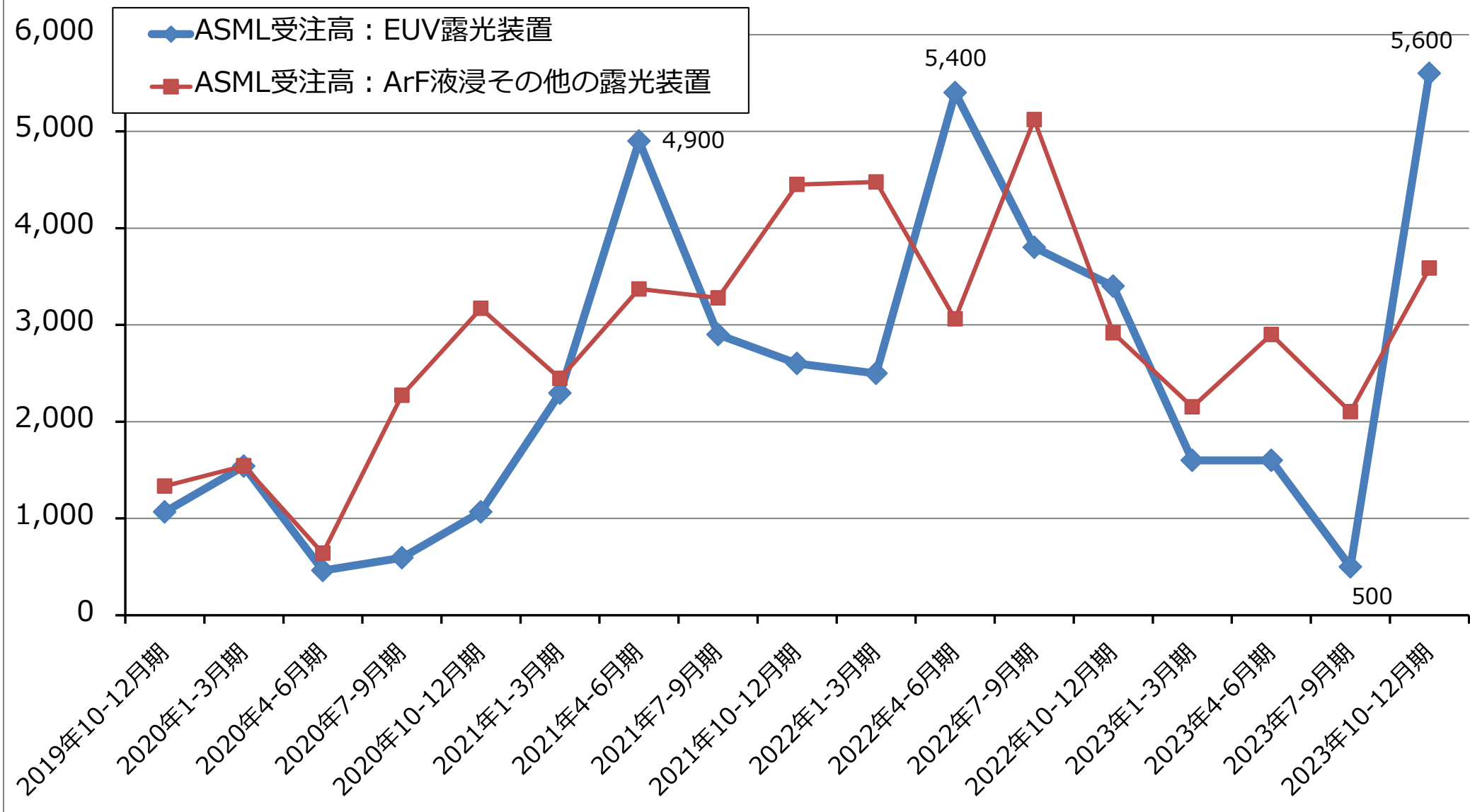
レーザーテック受注高：半導体関連装置

(単位：100万円、四半期ベース、出所：会社資料より楽天証券作成)



ASMLホールディングスの受注高推移

(単位：100万ユーロ、四半期ベース、出所：会社資料より楽天証券作成)



ASMLホールディングスの業績

	2022年12月期	2023年12月期	2024年12月期 楽天証券予想 (前回)	2024年12月期 楽天証券予想 (今回)	2025年12月期 楽天証券予想 (今回)
売上高	21,173	27,559	30,400	29,000	35,000
前年比	13.8%	30.2%	10.3%	5.2%	20.7%
営業利益	6,501	9,042	9,900	8,400	11,500
営業利益率	30.7%	32.8%	32.6%	29.0%	32.9%
前年比	-3.7%	39.1%	9.5%	-7.1%	36.9%
当期純利益	5,624	7,839	8,390	7,010	9,600
前年比	-4.4%	39.4%	7.0%	-10.6%	36.9%
EPS (ユーロ)	14.28	19.91	21.31	17.80	24.38
配当	5.80	6.10	5.80	6.10	6.10
PER	63.4	45.5	42.5	50.9	37.2
EPS (ドル)	15.36	20.99	22.39	18.88	25.46
PER (NASDAQ株価ベース)	63.8	46.7	43.8	51.9	38.5

株価 (アムステルダム)	905.70 ユーロ (2024年4月5日)
株価 (NASDAQ)	979.55 USドル (2024年4月5日)
時価総額	385,355 百万USドル (2024年4月5日)
発行済株数	393.8 百万株 (完全希薄化後、Dilluted)
発行済株数	393.4 百万株 (完全希薄化前、Basic)
1ユーロ	1.0835 USドル (2024年4月5日)

単位：百万ユーロ、ユーロ、米ドル、%、倍

出所：会社資料より楽天証券作成。

注1：当期純利益は親会社株主に帰属する当期純利益。

注2：EPSは完全希薄化後 (Diluted) 発行済株数で計算。ただし、時価総額は完全希薄化前 (Basic) で計算。

注3：ASMLホールディングスはアムステルダム、NASDAQに上場しているが、ここではNASDAQの株価でPERと時価総額を計算した。

アプライド・マテリアルズの業績

	2022年10月期	2023年10月期	2024年10月期 楽天証券予想 (前回)	2024年10月期 楽天証券予想 (今回)	2025年10月期 楽天証券予想 (前回)	2025年10月期 楽天証券予想 (今回)
売上高	25,785	26,517	28,300	28,300	32,400	32,500
前年比	11.8%	2.8%	6.7%	6.7%	14.5%	14.8%
営業利益	7,788	7,654	8,600	8,700	10,400	10,900
営業利益率	30.2%	28.9%	30.4%	30.7%	32.1%	33.5%
前年比	13.0%	-1.7%	12.4%	13.7%	20.9%	25.3%
当期純利益	6,525	6,856	7,460	7,550	9,020	9,450
前年比	10.8%	5.1%	8.8%	10.1%	20.9%	25.2%
EPS	7.80	8.19	8.91	9.02	10.78	11.29
配当	1.02	1.22	1.28	1.28	1.28	1.28
PER	26.7	25.4	23.3	23.0	19.3	18.4

株価 (NASDAQ) 207.85 ドル (2024年4月5日)

時価総額 172,723 百万ドル (2024年4月5日)

発行済株数 837 百万株(完全希薄化後、Diluted)

発行済株数 831 百万株(完全希薄化前、Basic)

単位：百万ドル、ドル、%、倍

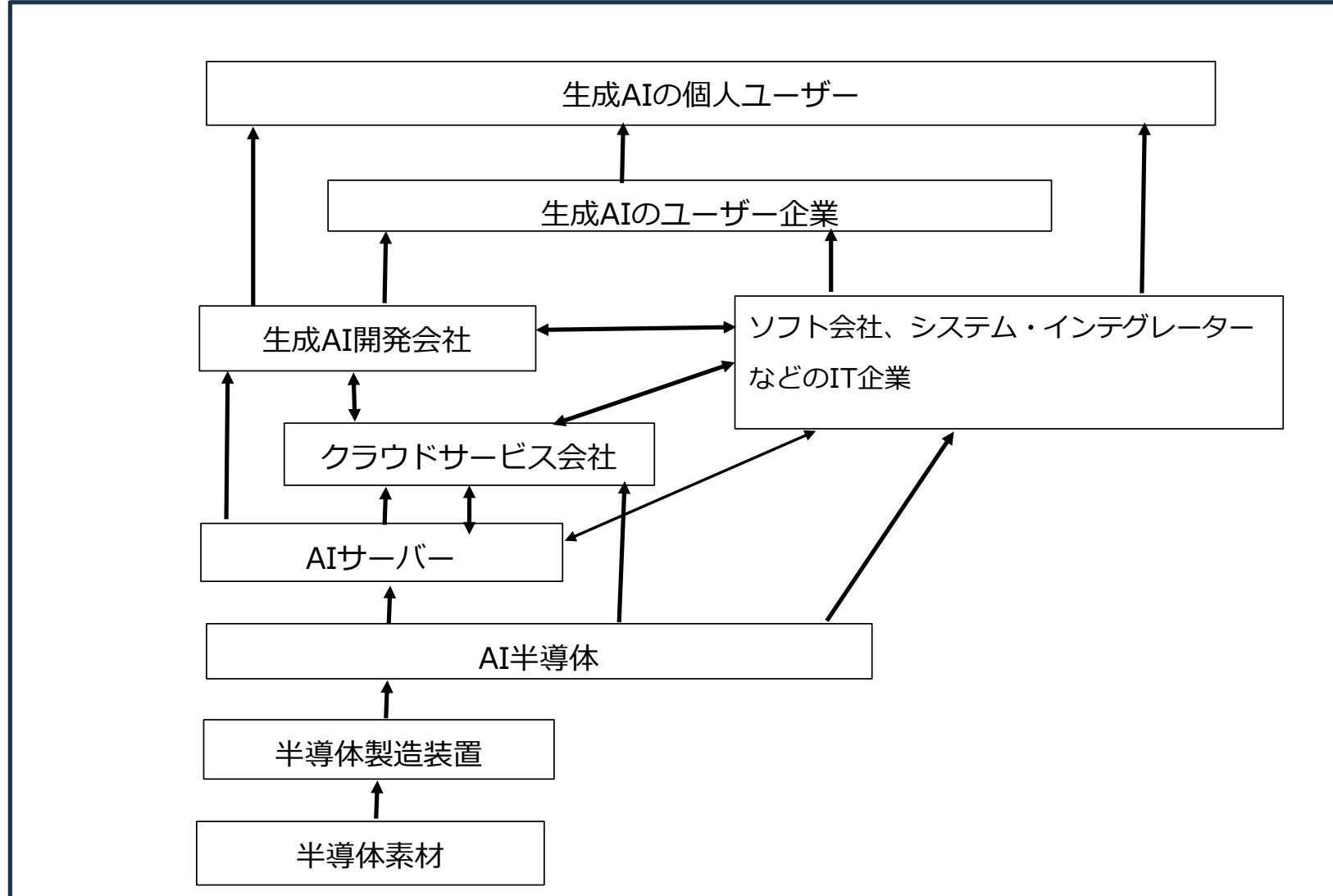
出所：会社資料より楽天証券作成。

注1：当期純利益は親会社株主に帰属する当期純利益。

注2：EPSは完全希薄化後 (Diluted) 発行済株数で計算。ただし、時価総額は完全希薄化前 (Basic) で計算。

4. AIサーバー

生成AIのサプライチェーン



サーバー売上高ランキング（2023年7-9月期）

順位		サーバー売上高	市場シェア	前期比	前年比
1	ODMダイレクト	6,361.0	24.9%	-19%	-4%
2	デル・テクノロジーズ	3,497.0	13.7%	1%	-30%
3	IEITシステムズ（Inspur）	2,943.7	11.5%	50%	30%
4	HPエンタープライズ	2,316.8	9.1%	-10%	-31%
5	スーパーマイクロ	1,882.2	7.4%	-3%	21%
6	ファーウェイ（xFusionを含む）	1,528.8	6.0%	22%	-10%
7	レノボ	1,331.5	5.2%	-2%	-39%
8	H3C	1,160.4	4.5%	46%	26%
9	IBM	911.0	3.6%	-15%	0%
10	Cisco	729.9	2.9%	5%	-14%
	その他	2,886.2	11.3%	3%	29%
	合計	25,548.5	100.0%	-1%	-7%

単位：100万ドル

出所：OMDIA2023年12月6日付けプレスリリースより楽天証券作成

サーバー各社のAIサーバー売上高

	2023年1-3月期	2023年4-6月期	2023年7-9月期	2023年10-12月期
スーパー・マイクロ・コンピューター	3.7億ドル	約10億ドル	11億ドル以上	20億ドル以上
	2023年2-4月期	2023年5-7月期	2023年8-10月期	2023年11月-2024年1月期
デル・テクノロジーズ			5億ドル以上	8億ドル

単位：億ドル

出所：スーパーマイクロは、会社資料、発言をもとにした楽天証券推定。デルは決算電話会議での会社側の発言による。

スーパー・マイクロ・コンピューターの業績

	2023年6月期 1Q	2Q	3Q	4Q	2024年6月期 1Q	2Q	3Q会社予想
売上高	1,852	1,803	1,283	2,185	2,120	3,665	3,900
前年比	79.3%	53.8%	-5.3%	33.6%	14.5%	103.3%	204.0%
営業利益	220	215	99	227	173	371	372
営業利益率	11.9%	11.9%	7.7%	10.4%	8.2%	10.1%	9.5%
前年比	658.6%	321.6%	10.0%	37.6%	-21.4%	72.6%	275.8%
当期純利益	184	176	86	194	157	296	313
前年比	636.0%	319.0%	11.7%	37.6%	-14.7%	68.2%	264.0%

単位：百万ドル、ドル、%、倍

出所：会社資料より楽天証券作成。

注1：当期純利益は親会社株主に帰属する当期純利益。

注2：会社予想は予想レンジの平均値。

スーパー・マイクロ・コンピューターの業績

	2022年6月期	2023年6月期	2024年6月期 会社予想 (前回)	2024年6月期 会社予想 (今回)	2024年6月期 楽天証券予想 (前回)	2024年6月期 楽天証券予想 (今回)	2025年6月期 楽天証券予想 (前回)	2025年6月期 楽天証券予想 (今回)
売上高	5,196	7,123	10,500	14,500	14,700	14,700	26,000	26,000
前年比	46.1%	37.1%	47.4%	103.6%	106.4%	106.4%	76.9%	76.9%
営業利益	335	761			1,370	1,370	2,500	2,500
営業利益率	6.4%	10.7%			9.3%	9.3%	9.6%	9.6%
前年比	170.2%	127.2%			80.0%	80.0%	82.5%	82.5%
当期純利益	285	640			1,170	1,170	2,130	2,130
前年比	154.5%	124.6%			82.8%	82.8%	82.1%	82.1%
EPS	4.91	11.02			20.15	20.15	36.67	36.67
配当	0.00	0.00			0.00	0.00	0.00	0.00
PER	193.2	86.0			47.1	47.1	25.8	25.8

株価 (NASDAQ) 948.02 米ドル (2024年4月5日)
 時価総額 51,321 百万ドル (2024年4月5日)
 発行済株数 58.078 百万株 (完全希薄化後、Diluted)
 発行済株数 54.135 百万株 (完全希薄化前、Basic)

単位：百万ドル、ドル、%、倍

出所：会社資料より楽天証券作成。

注1：当期純利益は親会社株主に帰属する当期純利益。

注2：EPSは完全希薄化後発行済み株式数で計算。ただし、時価総額は完全希薄化前発行済み株式数で計算。

注3：会社予想は予想レンジの平均値。

注4：表中の会社予想（前回）は2024年6月期1Q決算時の会社側ガイダンス、会社予想（今回）は2024年6月期2Q決算時の会社側ガイダンス。

デル・テクノロジーズの業績

	2023年1月期	2024年1月期	2025年1月期 会社予想 (今回)	2025年1月期 楽天証券予想 (前回)	2025年1月期 楽天証券予想 (今回)	2026年1月期 楽天証券予想 (今回)
売上高	102,301	88,425	93,000	99,000	93,000	102,000
前年比	1.1%	-13.6%	5.2%	12.0%	5.2%	9.7%
営業利益	5,771	5,211		5,700	6,400	8,000
営業利益率	5.6%	5.9%		5.8%	6.9%	7.8%
前年比	23.9%	-9.7%		9.4%	22.8%	25.0%
当期純利益	2,442	3,211		3,500	4,100	5,400
前年比	-56.1%	31.5%		9.0%	27.7%	31.7%
EPS	3.34	4.39		4.79	5.61	7.39
配当	1.32	1.48		1.48	1.78	1.78
PER	39.7	30.2		27.7	23.7	18.0

株価 132.72 ドル (2024年4月5日)

時価総額 94,231 百万ドル (2024年4月5日)

発行済株数 731 百万株 (完全希薄化後、Diluted)

発行済株数 710 百万株 (完全希薄化前、Basic)

単位：百万ドル、%、倍

出所：会社資料より楽天証券作成。

注1：当期純利益は親会社株主に帰属する当期純利益。

注2：EPSは完全希薄化後 (Diluted) 発行済株数で計算。ただし、時価総額は完全希薄化前 (Basic) で計算。

注3：会社予想は予想レンジのレンジ平均値。

5. 2024年ハイテクグロース株の投資リスク

- アメリカの金利
- アメリカの大統領選挙
- アメリカの対中国半導体、半導体製造装置輸出規制

6. まとめと注目銘柄

- マイクロソフト (MSFT、NASDAQ)
- アマゾン・ドット・コム (AMZN、NASDAQ)
- メタ・プラットフォームズ (META、NASDAQ)
- エヌビディア (NVDA、NASDAQ)
- TSMC (TSM、台湾、NYSE ADR)
- マイクロン・テクノロジー (MU、NASDAQ)
- AMD (AMD、NASDAQ)

- ディスコ (6146、東証プライム)
- 東京エレクトロン (8035、東証プライム)
- アドバンテスト (6857、東証プライム)
- レーザーテック (6920、東証プライム)
- ASMLホールディング (ASML、アムステルダム、NASDAQ)
- アプライド・マテリアルズ (AMAT、NASDAQ)
- スーパー・マイクロ・コンピューター (SMCI、NASDAQ)
- デル・テクノロジーズ (DELL、NYSE)

ご清聴ありがとうございました。

Rakuten 楽天証券